

(仮称) 田尻町総合文化センター基本構想

令和3年

田 尻 町

(仮称) 田尻町総合文化センター基本構想

目 次

1. 基本構想策定にあたって	1
1-1. 基本構想策定の背景	1
1-2. 基本構想の目的	1
1-3. 関連する計画（総合計画、生涯学習計画）	1
1-4. 基本構想の構成と流れ	2
2. 田尻町における現状と課題	3
2-1. 田尻町の現状	3
2-2. 田尻町の特徴	3
2-3. 田尻町公民館の状況と課題	3
2-4. 類似施設の把握（町内施設及び近隣自治体施設等）	7
3. 住民意向の把握	8
3-1. 意向調査の目的	8
3-2. 住民アンケート調査	8
3-3. 公民館利用団体アンケート調査	22
3-4. ワークショップ	34
3-5. 意向調査まとめ・考察	38
4. 総合文化センター整備の基本構想	40
4-1. 総合文化センター整備のコンセプト	40
4-2. 総合文化センター整備に向けての基本方針	41
4-3. 総合文化センターの導入機能の方向性	42
4-4. 新たな施設の整備方針	43
4-5. 新たな施設構成と概略規模の検討	46
4-6. 新たな施設の整備候補地の選定	47
5. 総合文化センター整備の整備方法	48
6. 施設整備案の比較検討	50
7. 総合文化センター整備の方向性	51
8. 今後のスケジュール	53
9. 別添資料	
○住民アンケート 調査票	54
○公民館利用団体アンケート 調査票	63

1. 基本構想策定にあたって

1-1. 基本構想策定の背景

田尻町公民館は、社会教育法（昭和24年法律第207号）第20条に規定する目的実現のために昭和57年に建設された施設であり、田尻町における地域住民のために社会教育活動を推進する拠点として38年間に渡り中心的な役割を果たしてきましたが、施設や設備も老朽化しており、大規模改修又は施設更新を検討する必要があります。

また、令和2年3月に策定した第5次田尻町総合計画において、住民一人ひとりが生涯を通じて主体的に学び、充実した人生をおくるとともに、生涯学習の成果を活かして地域に還元していけるよう学びあえる環境づくりに取り組むこととしており、施設及び機能の整備、充実を図っていく必要があります。

1-2. 基本構想の目的

本基本構想は、子どもから高齢者まで各世代の住民の意向を把握しながら各世代の住民が生涯学習を通じてふれあう場として、また、田尻町の文化を発信する拠点として、現在の公民館の法令上の位置づけ、施設、機能にとらわれることなく、積極的な展開を図るための施設の運営、機能の在り方を検討し、施設の基本理念や施設整備の方向性を示すことを目的とします。

1-3. 関連する計画（総合計画、生涯学習計画）

総合文化センター整備に関連する田尻町における計画は、上位計画である田尻町総合計画等において下記のとおり位置づけられています。

○第5次田尻町総合計画 令和2年策定（2020年）

総合計画における基本構想の施策の大綱において、生涯学習については住民一人ひとりが生涯を通じて主体的に学び、充実した人生をおくるとともに、学習の成果を活かして地域に還元していけるよう、いつでもどこでも学びあえる環境づくりに取り組むことを基本施策として定めています。

また、同基本構想の基本計画において生涯学習を推進するにあたり、講座、教養、講演等の学習機会の充実、主体的な取り組みの促進とまちづくりとの連携、そして、生涯学習施設の整備、充実を図るための施策を展開していくことを定めています。合わせて、文化の香り高い個性豊かなまちづくりと住民主体の文化芸術活動を促進し、新たな文化の創造につなげていくことを基本方針とし、文化・芸術に触れる環境の充実、文化芸術活動の活発化を図るための施策を展開していくことを定めています。

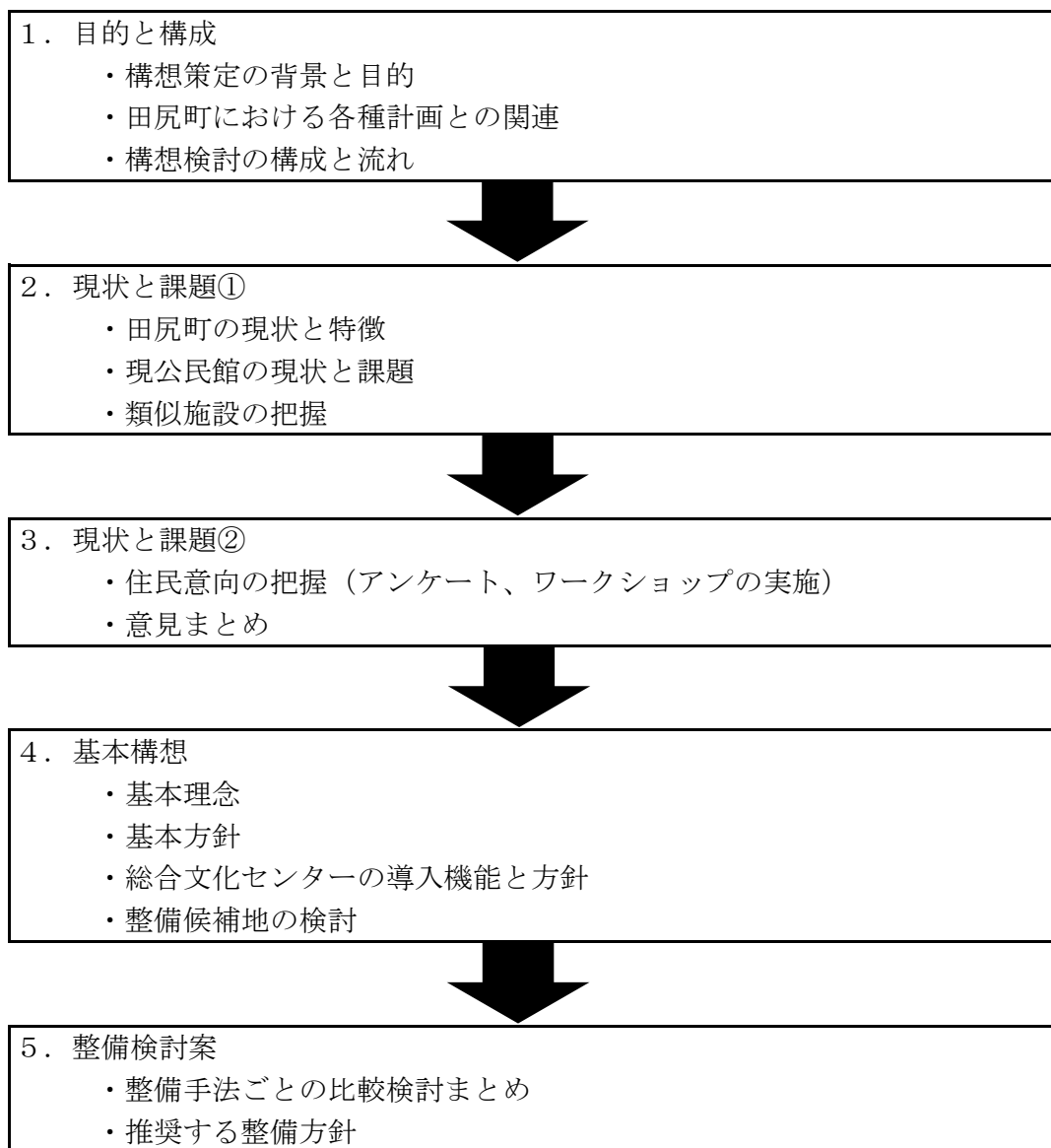
○第2次田尻町生涯学習推進計画 平成25年策定（2013年）

田尻町の生涯学習に関わる中心的な機能を担う施設として、当該計画の基本方針を実現する上で重要な役割を有するものとして位置づけています。

1. 基本構想策定にあたって

1-4. 基本構想の構成と流れ

本検討の構成と流れについては、以下のとおりです。



2. 田尻町における現状と課題

2-1. 田尻町の現状

田尻町では関西国際空港の開港を契機に人口の増加が続いていましたが、全国的にも人口の減少局面にあり、本町においても、人口が減少に転じることが予測されます。その一方で、高齢比率も高くなっており、高齢化が進行しています。

地域活動を担っている地域コミュニティ団体についても、活動参加者の減少や各団体の人材確保が課題となっています。

2-2. 田尻町の特徴

人口や面積ともにコンパクトな町となっており、住民同士がお互いに知り合える近しさがとれる特徴があります。また、住民と行政との間も同じことが言え、地域の自主性を高めるとともに、協働によるまちづくりを進めやすい環境にあります。

2-3. 田尻町公民館の状況と課題

<建物実態>

○田尻町公民館は開館から38年間が経過しており、建物及び設備の老朽化が進んでいます。令和元年に実施された劣化調査では屋上や外壁、開口部（サッシ等）における劣化や漏水が多数見受けられており、随時対応しているが完全な改善には至っていないのが現状です。

<利用団体及び実施事業>

○令和2年8月時点で13団体（114名）が社会教育活動として利用しています。
○主催事業としては語学学習や料理、アクセサリー等作成講座など毎年20講座程度開催しており、公民館まつりやハートフルコンサート、たじりワイワイフェスタ等を含め、成人式や還暦の集いなどのイベントも実施しています。

<利用実態>

○公民館の利用実態については大ホールのほか、和室、会議室、料理室等、10部屋の貸出を行っており、年間2,300件、約18,000人の方が利用しています。
○各部屋の利用率は約23%、利用者の多い和室で約46%、大ホールで31%、講座室（20人規模）で約33%となっています。
○図書室については、年間で約15,000冊の貸し出しを行っていますが、蔵書数は約12,000冊程度となっており、近隣自治体が運営している図書館、図書室の蔵書数と比べてきわめて少ない状況です。

2. 田尻町における現状と課題

表1) 現公民館の利用状況

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 (令和元年)	
貸 館	年間開館日数	288日	289日	290日	288日	284日	
	契約利用者数	18,975人	20,092人	18,637人	17,834人	14,827人	
	利用件数	2,219件	2,434件	2,101件	2,155件	2,340件	
図書室	蔵書数	11,737冊	11,901冊	12,243冊	12,604冊	11,617冊	
	貸出冊数	14,448冊	14,928冊	14,787冊	13,687冊	15,355冊	
	利用者数	3,963人	4,050人	4,122人	3,916人	4,065人	
主催講座	講座数(*1)	21講座	17講座	20講座	19講座	15講座	
	参加者数	241人	221人	397人	373人	407人	
※貸室等個別の利用状況							
1階	大ホール	利用者数	5,710人	7,297人	6,338人	6,000人	3,752人
		利用件数	321件	393件	335件	315件	264件
	214m ²	(稼働率)	37.2%	45.3%	38.5%	36.5%	31.0%
	和室	利用者数	2,899人	3,193人	3,197人	2,934人	2,817人
		利用件数	378件	419件	411件	411件	390件
	38m ²	(稼働率)	43.8%	48.3%	47.2%	47.6%	45.8%
陶芸室	利用者数	817人	688人	709人	603人	595人	
	利用件数	145件	102件	94件	86件	85件	
40m ²	(稼働率)	16.8%	11.8%	10.8%	10.0%	10.0%	
2階	料理室	利用者数	1,079人	1,168人	791人	1,043人	854人
		利用件数	109件	199件	170件	212件	182件
	40m ²	(稼働率)	12.6%	23.0%	19.5%	24.5%	21.4%
	講座室1	利用者数	1,098人	997人	1,135人	1,048人	879人
		利用件数	206件	195件	194件	197件	156件
	34m ²	(稼働率)	23.8%	22.5%	22.3%	22.8%	18.3%
	講座室2	利用者数	1,753人	1,907人	2,211人	1,978人	1,713人
		利用件数	256件	294件	289件	262件	285件
	47m ²	(稼働率)	29.6%	33.9%	33.2%	30.3%	33.5%
	講座室3	利用者数	1,636人	1,429人	1,285人	1,192人	1,184人
利用件数		245件	368件	200件	182件	258件	
47m ²	(稼働率)	28.4%	42.4%	23.0%	21.1%	30.3%	
小会議室	利用者数	1,805人	1,552人	1,455人	1,475人	1,461人	
	利用件数	250件	208件	215件	215件	214件	
44m ²	(稼働率)	28.9%	24.0%	24.7%	24.9%	25.1%	
3階	視聴覚室	利用者数	1,668人	1,552人	1,284人	1,272人	973人
		利用件数	152件	134件	117件	150件	88件
	80m ²	(稼働率)	17.6%	15.5%	13.4%	17.4%	10.3%
	音響室	利用者数	377人	291人	210人	276人	178人
利用件数		109件	104件	74件	118件	106件	
20m ²	(稼働率)	12.6%	12.0%	8.5%	13.7%	12.4%	

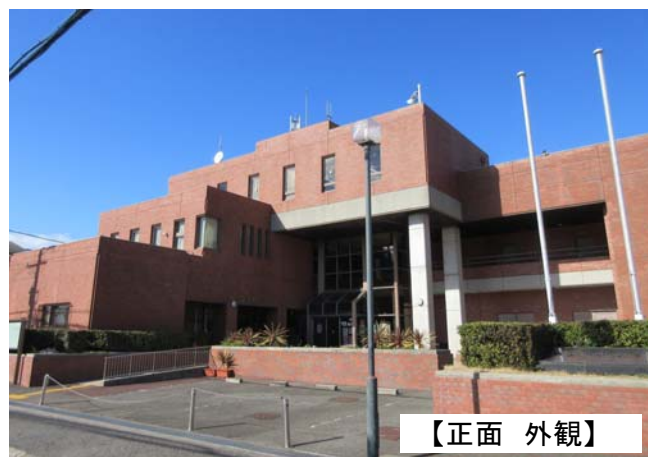
(*1: 新型コロナウイルス感染症により2講座中止)

2. 田尻町における現状と課題

【田尻町立公民館 建物概要】

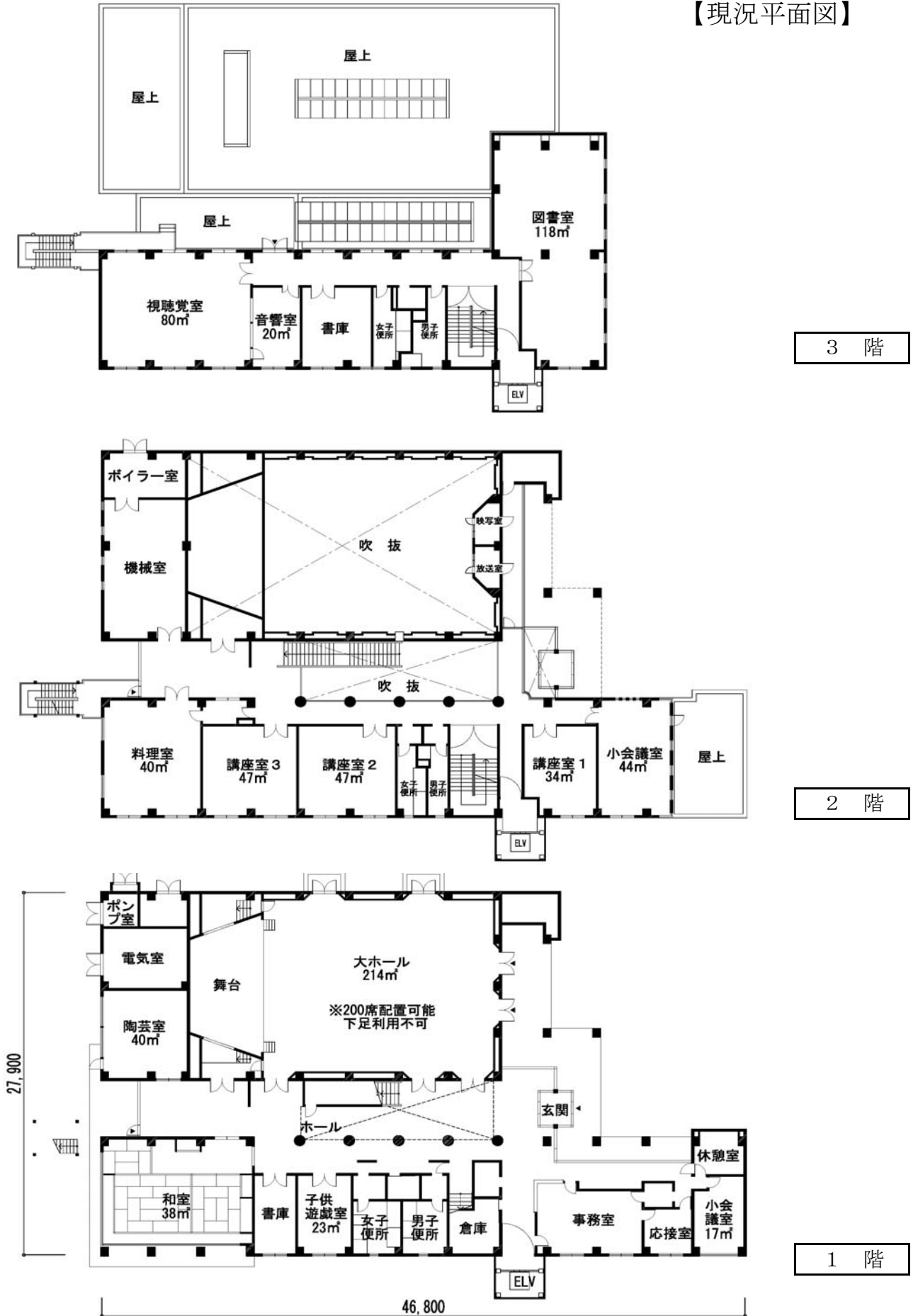
- 竣工年月 昭和57年（1982年）4月
- 構造規模 鉄筋コンクリート造
地上3階建て
- 敷地面積 2,869㎡
- 建築面積 1,125.16㎡
- 延べ面積 2,017.57㎡
- 駐車施設 駐車場28台／駐輪場10台
- 施設内容

室名	室数	床面積
大ホール	1室	214㎡
講座室	3室	128㎡
和室	1室	38㎡
陶芸室	1室	40㎡
料理室	1室	40㎡
図書室	1室	118㎡
子供遊戯室	1室	23㎡
(小)会議室	1室	44㎡
視聴覚室	1室	80㎡
駐車場		28台
駐輪場		10台



2. 田尻町における現状と課題

【現況平面図】



3. 住民意向の把握

3-1. 意向調査の目的

これまでの公共施設の整備のような行政主体の計画ではなく、地域住民が主体となって積極的な参加による整備が望まれており、構想段階から様々な主体間による整備機能の必要性等を議論することにより稼働率、利用率の向上はもとより、中核拠点施設としての位置づけを明確にすることができます。

ついては、本構想策定においても、住民等利用者の意向を把握し、その結果から、整備にあたっての必要な基礎データとして活用することとしました。

そこで、住民及び利用団体に対するアンケート調査をそれぞれ実施し、加えて現公民館にて合計4回のワークショップを開催することで、地域住民の考える問題点や課題、整備のあり方を本基本構想において反映することを目的とします。

3-2. 住民アンケート調査

○調査経過 令和2年（2020年）10月 6日 配布開始
令和2年（2020年）11月 2日 回答期限

○調査方法 郵送によるアンケート調査票の配布・回収

○調査対象 無作為に抽出された高校生以上の田尻町民 1,000名
(平成17年4月1日以前に生まれた方)

○回収結果 回収数 432名 (回収率 43.2%)

○アンケート内容の概略

問1 属性について

・年齢、職業、居住区、在町期間、通勤・通学地域の把握

問2 生涯学習の活動について

・現在行っている活動内容や頻度、今後行ってみたい活動の把握

問3 現公民館の利用動向について

・利用の有無、利用目的、利用頻度、現公民館への不満等の把握

問4 公民館の管理運営について

・現公民館に対する要望や意見の把握

問5 現公民館以外での生涯学習、文化芸術等活動の状況について

・現公民館以外に利用している施設や目的の把握

問6 生涯学習、文化芸術等活動を行うにあたっての要望について

・各活動に重要となる指標、総合文化センターに期待する機能等の把握

問7 総合文化センターの管理運営について

・総合文化センターにおける管理運営方式に望むことの把握

問8 総合文化センターの整備方法について

・総合文化センターの整備方法に対する要望の把握
(現建物改修、建て替え、移転等)

3. 住民意向の把握

○住民アンケート集計結果

- ※1) 各集計結果について、設問に対して無回答、未記述のものも含まれますので、回収数と回答数が一致しないことがあります。
- ※2) 各アンケートの設問には複数回答可能なものも含まれてます。
- ※3) 各表の割合値については、小数点第2位で四捨五入した数値を示しており、最も回答数の大きな項目で、端数調整しています。

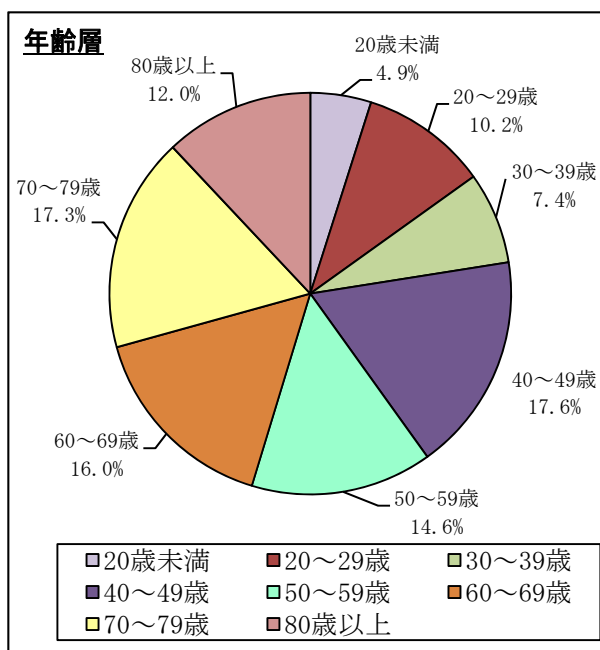
問1 属性について

①年齢層

各年代での回収率は50歳代以上で約半数前後になっており、20歳代が最も低く約3割程度になっています。

回答者数(432件)に対する割合は、40歳代以上で全体の約8割となっています。

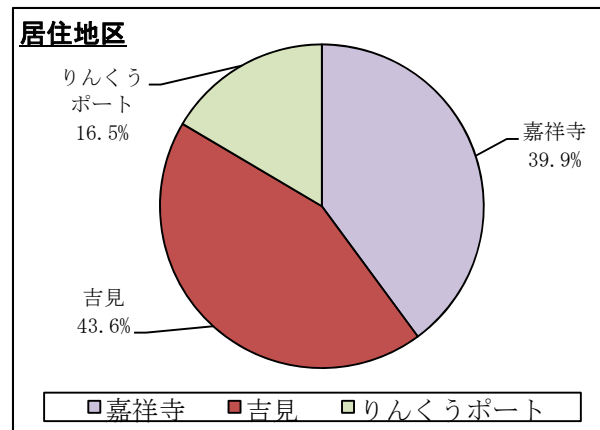
項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合	配布数 (人)	各回収率
20歳未満	21	4.9%	60	35.0%
20～29歳	44	10.2%	147	29.9%
30～39歳	32	7.4%	99	32.3%
40～49歳	76	17.6%	192	39.6%
50～59歳	63	14.6%	135	46.7%
60～69歳	69	16.0%	113	61.1%
70～79歳	75	17.3%	147	51.0%
80歳以上	52	12.0%	107	48.6%
合計	432	100.0%	1,000	—



②居住地区

各居住地区での回収率は、ほぼ同程度の割合になっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合	配布数 (人)	各回収率
嘉祥寺	172	39.9%	376	45.7%
吉見	188	43.6%	464	40.5%
りんくうポート	71	16.5%	160	44.4%
合計	431	100.0%	1,000	—

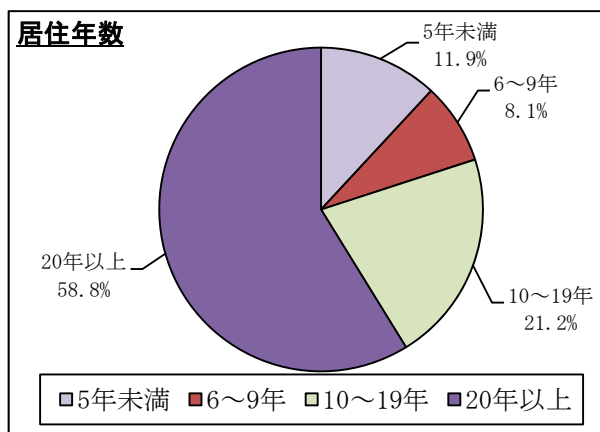


3. 住民意向の把握

③ 居住年数

居住年数については、約59%の方が20年以上、田尻町に在住しています。

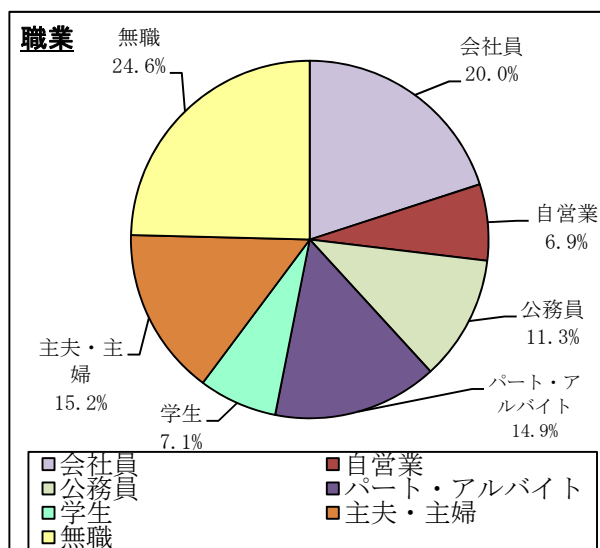
項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合	備考
5年未満	51	11.9%	
6～9年	35	8.1%	
10～19年	91	21.2%	
20年以上	253	58.8%	
合計	430	100.0%	



④ 職業

職業の構成をみると、無職が約25%を占めて最も高くなっており、就業者は全体の約半数となっています。

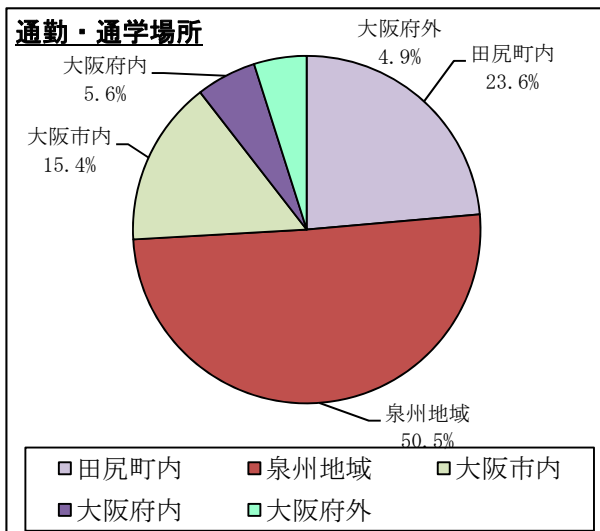
項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合	備考
会社員	87	20.0%	※契約社員含む
自営業	30	6.9%	※会社経営含む
公務員	49	11.3%	
パート・アルバイト	65	14.9%	
学生	31	7.1%	
主夫・主婦	66	15.2%	
無職	107	24.6%	
合計	435	100.0%	



⑤ 通勤・通学場所

通勤・通学している場所については、泉州地域が最も多く約半数となっており、田尻町内は約24%となっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合	備考
田尻町内	63	23.6%	
泉州地域	135	50.5%	※堺市以南
大阪市内	41	15.4%	
大阪府内	15	5.6%	
大阪府外	13	4.9%	
合計	267	100.0%	



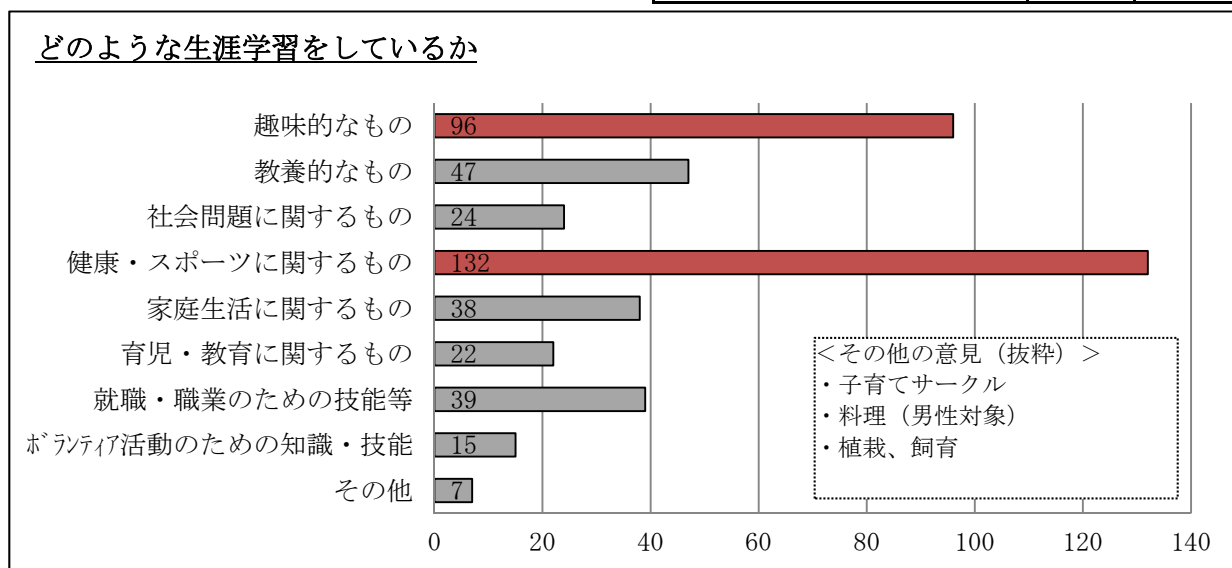
3. 住民意向の把握

問2 生涯学習の活動について

①どのような生涯学習をしているか

普段の生涯学習活動については、「健康・スポーツに関するもの」が約31%、「趣味的なもの」が約23%あり、この2項目で約半数となっています。

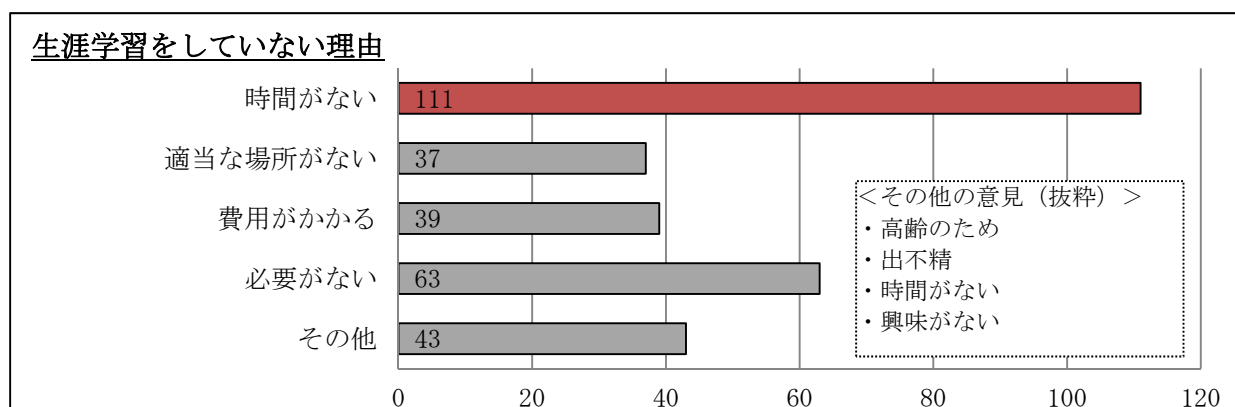
項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
趣味的なもの	96	22.9%
教養的なもの	47	11.2%
社会問題に関するもの	24	5.7%
健康・スポーツに関するもの	132	31.4%
家庭生活に関するもの	38	9.0%
育児・教育に関するもの	22	5.2%
就職・職業のための技能等	39	9.3%
ボランティア活動のための知識・技能	15	3.6%
その他	7	1.7%
合計	420	100.0%



②生涯学習をしていない理由

生涯学習活動をしていない理由としては、「時間がない」方が約38%で最も高く、理由が明確になっている方は、約85%となっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
時間がない	111	37.9%
適当な場所がない	37	12.6%
費用がかかる	39	13.3%
必要がない	63	21.5%
その他	43	14.7%
合計	293	100.0%



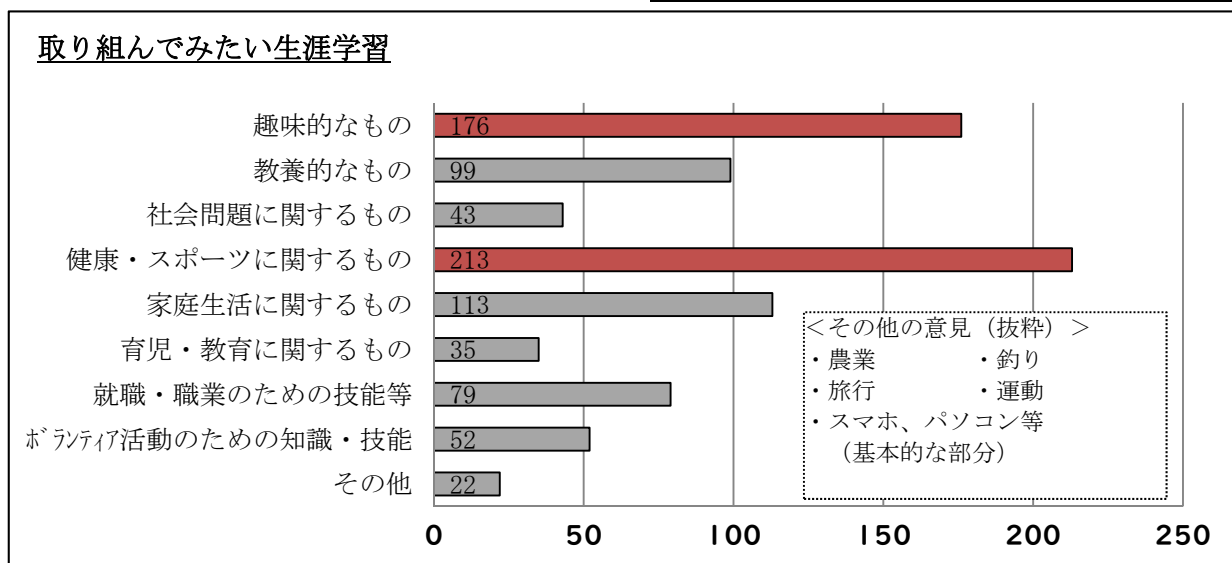
3. 住民意向の把握

③ 取り組んでみたい生涯学習

取り組んでみたい活動については、「健康・スポーツに関するもの」、「趣味的なもの」の回答が多く、2つを合わせると約47%となっています。

「教養」や「家庭生活」に関するものも比較的多く、約25%となっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
趣味的なもの	176	21.2%
教養的なもの	99	11.9%
社会問題に関するもの	43	5.2%
健康・スポーツに関するもの	213	25.5%
家庭生活に関するもの	113	13.6%
育児・教育に関するもの	35	4.2%
就職・職業のための技能等	79	9.5%
ボランティア活動のための知識・技能	52	6.3%
その他	22	2.6%
合計	832	100.0%



3. 住民意向の把握

問3 現公民館の利用動向について

①現公民館を利用した内容

これまでに公民館を利用した内容については、「公民館まつり等のイベント参加」が最も高く、約26%となっています。

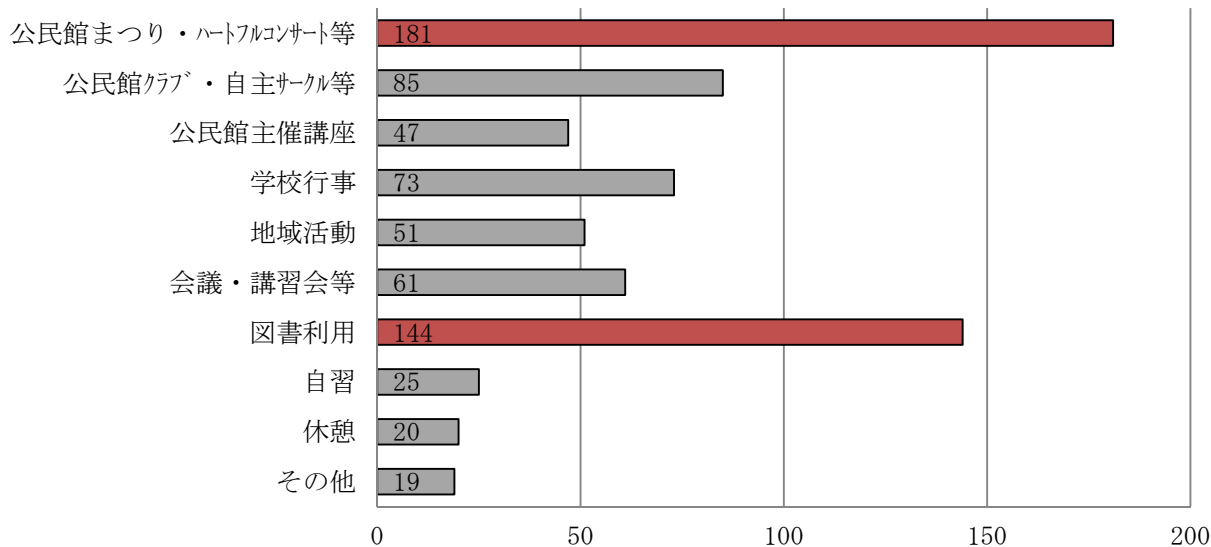
次に「図書利用」を利用している方が多く、約20%となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・成人式
- ・貸衣装
- ・選挙投票
- ・音楽、映画鑑賞
- ・子供のイベント
- ・習い事
- ・クリスマス会

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
公民館まつり・ハートフルコンサート等	181	25.8%
公民館クラブ・自主サークル等	85	12.0%
公民館主催講座	47	6.7%
学校行事	73	10.3%
地域活動	51	7.2%
会議・講習会等	61	8.6%
図書利用	144	20.4%
自習	25	3.5%
休憩	20	2.8%
その他	19	2.7%
合計	706	100.0%

現公民館を利用した内容

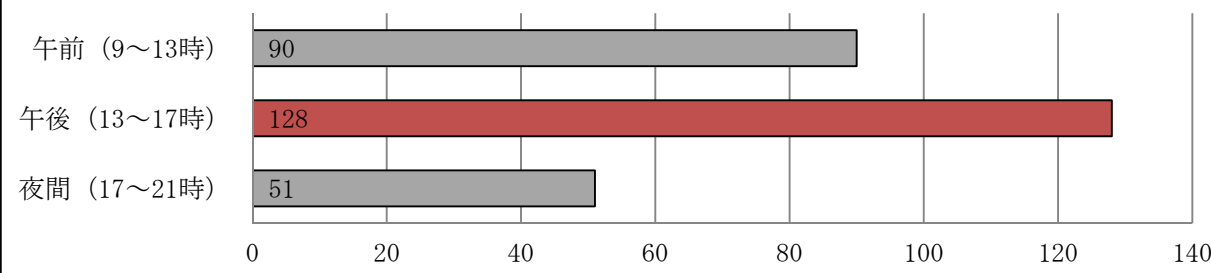


②利用した時間帯

利用した時間帯は、「午後の時間帯」が約半数となっており、最も高くなっている一方で、「夜間の時間帯」での利用は、約19%にとどまっています。

項目	回答数(人)	回答者数に対する割合	備考
午前	90	33.5%	9~13時
午後	128	47.5%	13~17時
夜間	51	19.0%	17~21時
合計	269	100.0%	

利用した時間帯

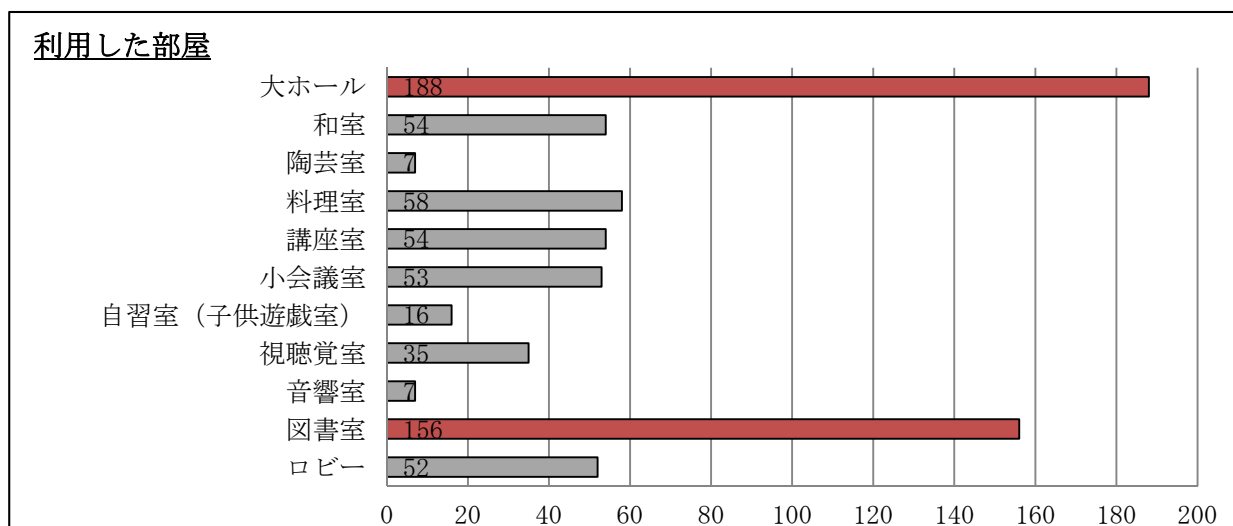


3. 住民意向の把握

③利用した部屋

利用した部屋については、約半数の方が「大ホール」と「図書室」をそれぞれ利用したとの回答をしています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
大ホール	188	27.9%
和室	54	7.9%
陶芸室	7	1.0%
料理室	58	8.5%
講座室	54	7.9%
小会議室	53	7.8%
自習室（子供遊戯室）	16	2.4%
視聴覚室	35	5.1%
音響室	7	1.0%
図書室	156	22.9%
その他	52	7.6%
合計	680	100.0%



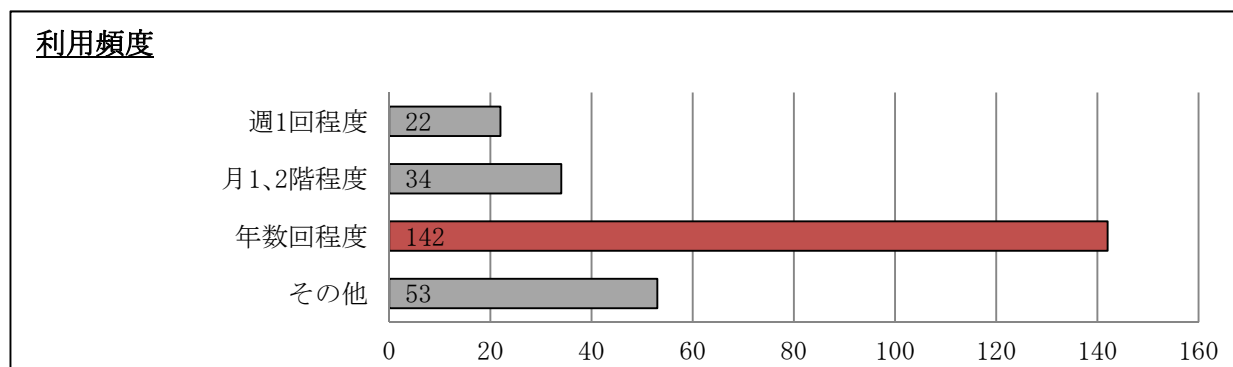
④利用頻度

これまでの公民館を利用する機会は、「年に数回程度」の方が約57%と最も高くなっています。

<その他の意見（抜粋）>

- ・ほとんど利用したことがない
- ・数年に1回だけ
- ・成人式や特定のイベント等のみ

項目	回答数（人）	回答者数に対する割合
週1回程度	22	8.8%
月1、2回程度	34	13.5%
年数回程度	142	56.6%
その他	53	21.1%
合計	251	100.0%



3. 住民意向の把握

⑤ 不満を感じるどころ

現公民館に対する不満について、「図書の蔵書数が少ない」が最も高く約25%となっており、次に「施設・設備が古い」で20%、「参加したい講座がない」が約16%となっています。

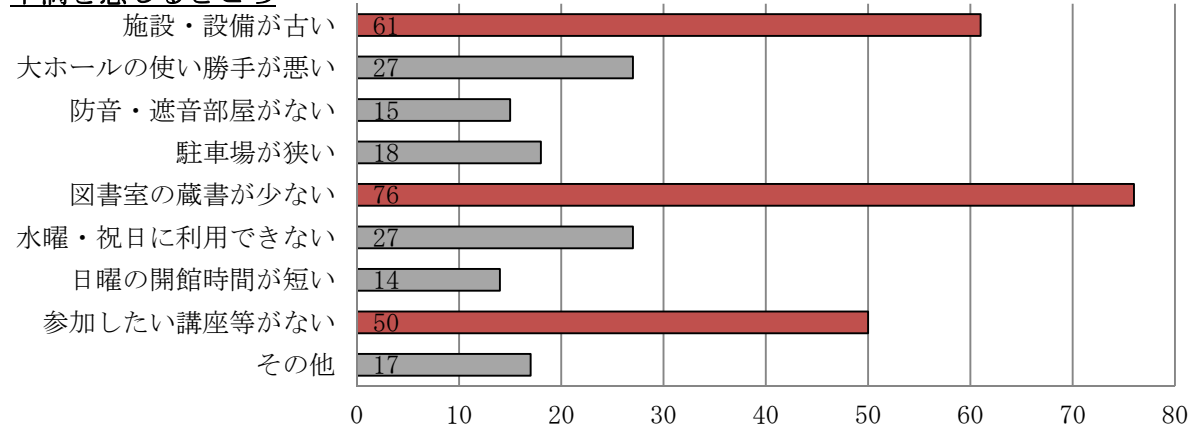
その他の意見として、「全体的に暗い」といった意見が比較的によくあります。

<その他の意見（抜粋）>

- ・全体的に暗い
- ・音響設備、電気設備が古い
- ・図書のネット予約やオンライン検索ができない
- ・各所で狭い、中途半端で使い勝手が悪い

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
施設・設備が古い	61	20.0%
大ホールの使い勝手が悪い	27	8.9%
防音・遮音部屋がない	15	4.9%
駐車場が狭い	18	5.9%
図書室の蔵書が少ない	76	24.8%
水曜・祝日に利用できない	27	8.9%
日曜の開館時間が短い	14	4.6%
参加したい講座がない	50	16.4%
その他	17	5.6%
合計	305	100.0%

不満を感じるどころ

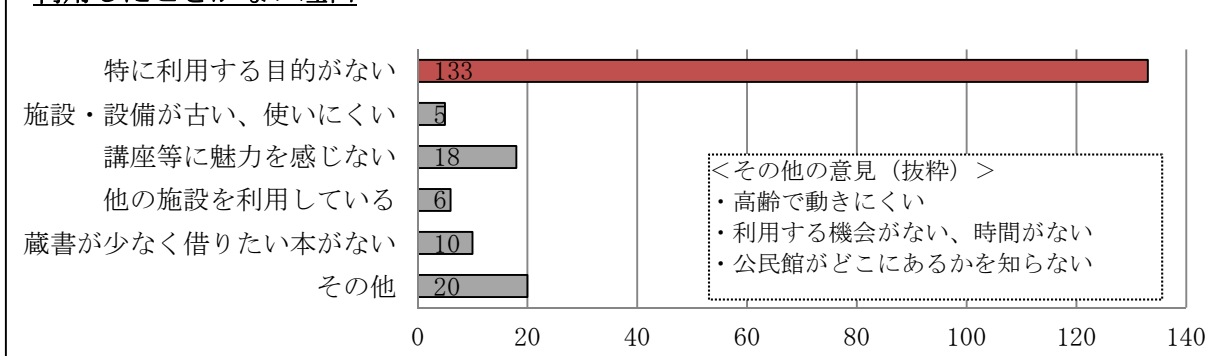


⑥ 利用したことがない理由

利用したことがない理由としては、「利用目的が特にない」方が約70%と極めて高くなっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
特に利用する目的がない	133	69.3%
施設・設備が古い、使いにくい	5	2.6%
講座等に魅力を感じない	18	9.4%
他の施設を利用している	6	3.1%
蔵書が少なく借りたい本がない	10	5.2%
その他	20	10.4%
合計	192	100.0%

利用したことがない理由



<その他の意見（抜粋）>

- ・高齢で動きにくい
- ・利用する機会がない、時間がない
- ・公民館がどこにあるかを知らない

3. 住民意向の把握

問4 公民館の管理運営について

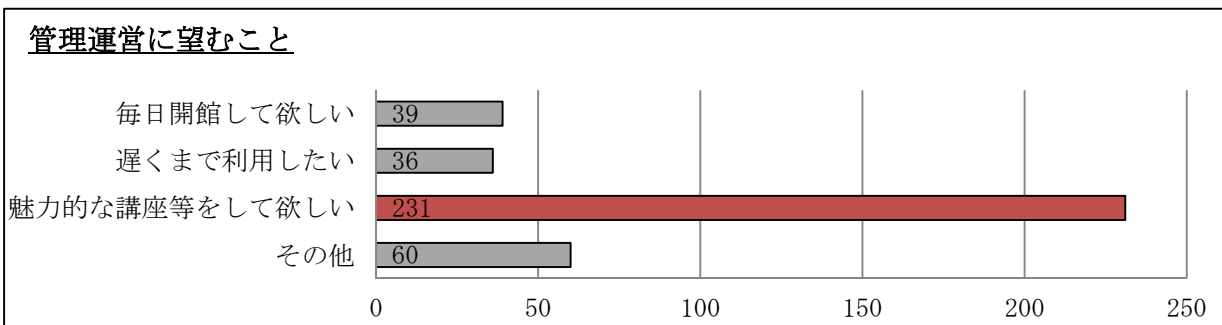
①管理運営に望むこと

管理運営に対する要望としては、「魅力的な講座をして欲しい」が最も高く、約63%となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・特にない
- ・水曜や祝日にも利用したい
- ・蔵書の充実、週刊誌や子供用DVD等も置いてほしい
- ・何をしているか、広報等にも発信して欲しい

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
毎日開館して欲しい	39	10.7%
遅くまで利用したい	36	9.8%
魅力的な講座等をして欲しい	231	63.1%
その他	60	16.4%
合計	366	100.0%



②現公民館で気づいた点、意見(自由意見)

- ・室内が暗い(夜間も)、外観が重い。
- ・興味のあるイベントや講座が少ない。
- ・ホールの座席がパイプ椅子であるのが不満。
- ・ホールの土足利用ができないか。
- ・蔵書を増やす等、図書機能を充実し、スペースを広くして欲しい。
- ・図書のネット予約やオンライン検索等ができるようにして欲しい。
- ・子どもや親子で利用できる場所が欲しい。
- ・イベントや講座情報がわかりにくいので、ポスター等お知らせをもっとした方がよい。
- ・町内だけでなく廻りの市町村も利用してもらえるような独自性のある施設づくりも必要。
- ・設備や器具が古い。
- ・開館、閉館の立て札が見えにくい。
- ・受付の位置が悪い。
- ・卓球できる場所が欲しい。
- ・駐車場が狭い。
- ・レンガ造りの外観も今では珍しいので残して欲しい。
- ・クリスマス時のライトアップがきれい。
- ・掃除が行き届いていて清潔。
- ・現状運営に満足している。

3. 住民意向の把握

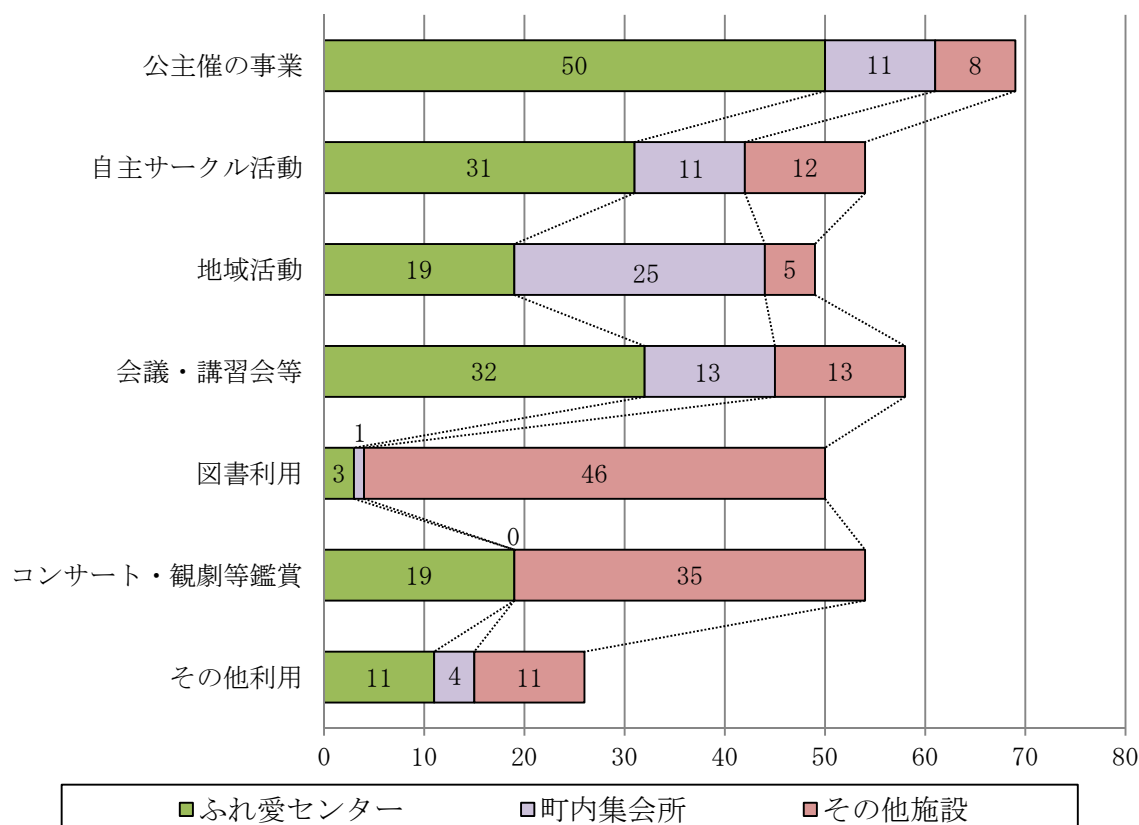
問5 公民館以外での生涯学習、公民館・文化芸術活動について

①公民館以外での生涯学習、公民館・文化芸術活動

現公民館以外で利用する施設とその目的については、「図書利用」、「コンサート・観劇」を目的とする場合は、周辺自治体の大型公共施設を利用していることが多く、それ以外の目的では、町内の公共施設を利用しているとの回答が多くあります。

項目 (※複数回答可)	ふれあいセンター		町内集会所		その他施設		合計	
	回答数 (人)	割合	回答数 (人)	割合	回答数 (人)	割合	回答数 (人)	割合
公主催の事業	50	13.8%	11	3.1%	8	2.2%	69	19.1%
自主サークル活動	31	8.6%	11	3.1%	12	3.3%	54	15.0%
地域活動	19	5.3%	25	6.9%	5	1.4%	49	13.6%
会議・講習会等	32	8.9%	13	3.6%	13	3.6%	58	16.1%
図書利用	3	0.8%	1	0.3%	46	12.8%	50	13.9%
コンサート・観劇等鑑賞	19	5.3%	0	0.0%	35	9.7%	54	15.0%
その他利用	11	3.1%	4	1.1%	11	3.1%	26	7.3%
合計	165	45.8%	65	18.1%	130	36.1%	360	100.0%

現公民館以外の利用施設と利用目的



< その他の施設と利用目的 (抜粋) >

- ・ 泉佐野市立中央図書館
- ・ 泉佐野市立文化会館 泉の森ホール
(コンサート、発表会、キッズスペース利用等)
- ・ 岸和田市立波切ホール (コンサート、発表会等)
- ・ 阪南市立文化センター サラダホール (コンサート、発表会等)
- ・ 熊取図書館、和泉市立図書館
- ・ 国際交流基金関西国際交流センター (図書、ふれあいまつり)

3. 住民意向の把握

問6 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むことについて

①生涯学習・公民館活動等施設に望むこと

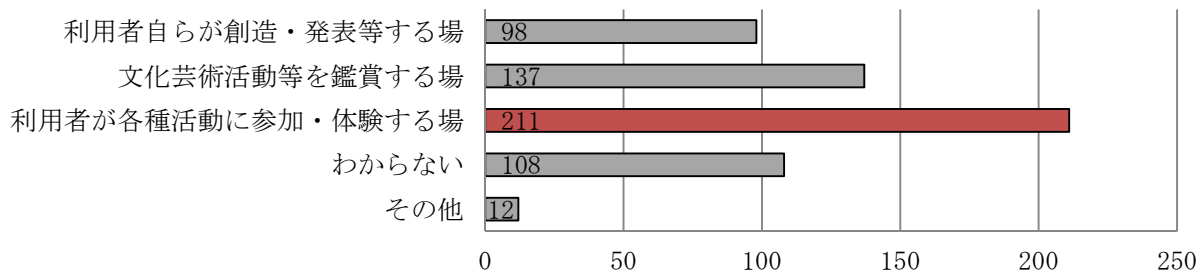
生涯学習活動・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むこととして「利用者が各種活動に参加・体験する場」の提供が最も高く、約37%となっています。

＜その他の意見（抜粋）＞

- ・参加者の交流
- ・学習向け、就活向け講座
- ・ジム等運動
- ・避難所としての機能

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
利用者自らが創造・発表等する場	98	17.3%
文化芸術活動等を鑑賞する場	137	24.2%
利用者が各種活動に参加・体験する場	211	37.3%
わからない	108	19.1%
その他	12	2.1%
合計	566	100.0%

生涯学習・公民館活動等施設に望むこと



②総合文化センターに特に重要な項目

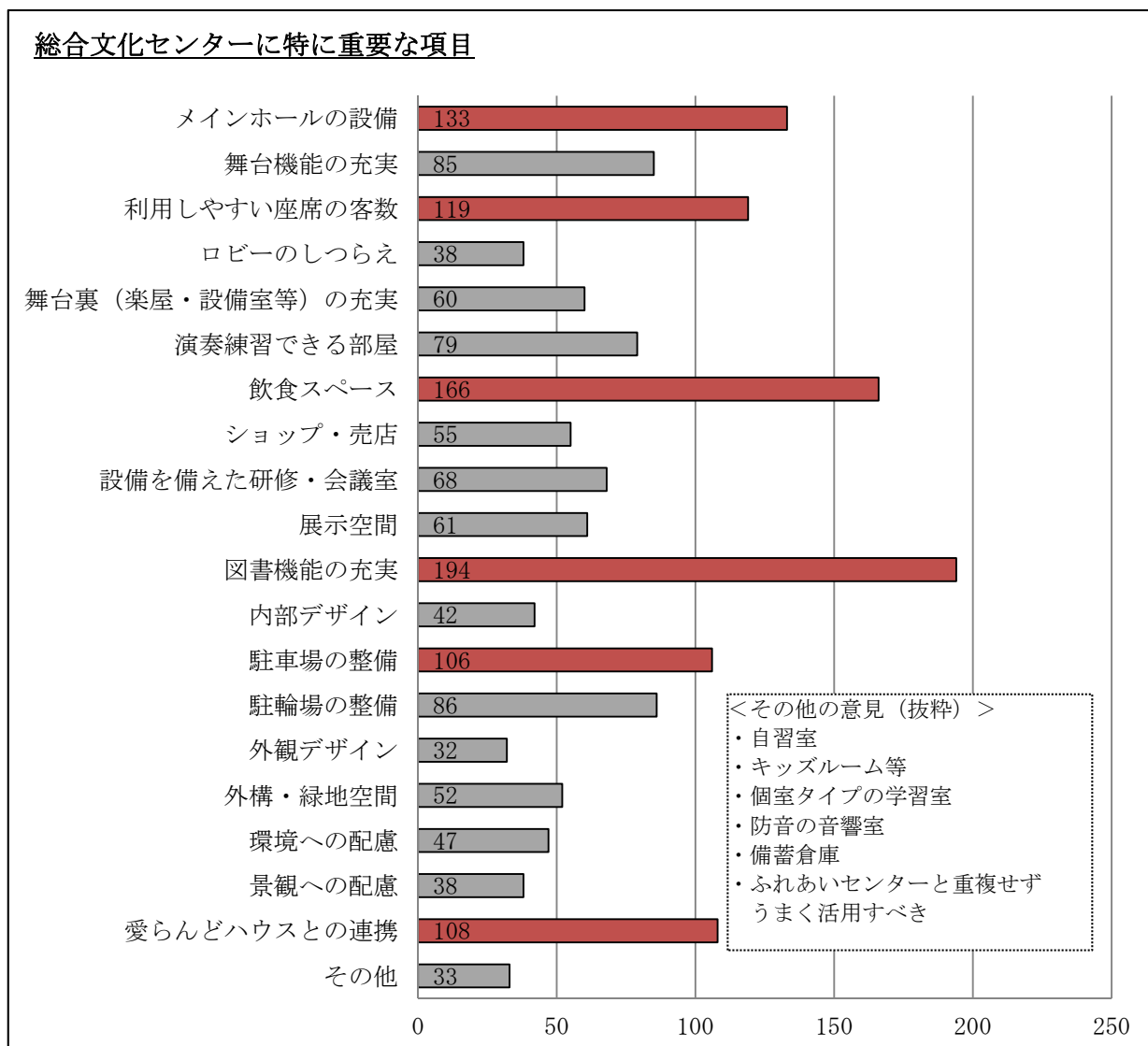
総合文化センターに望む、特に重要な項目については、「図書機能の充実」が最も高く約12%となっています。

次いで、「飲食スペース」、「メインホールの設備」、「利用しやすい座席の客数」等が高くなっています。

また、「駐車場の整備」や隣接の「愛らんどハウスとの連携」に期待する意見も多くあります。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
メインホールの設備	133	8.3%
舞台機能の充実	85	5.3%
利用しやすい座席の客数	119	7.4%
ロビーのしつらえ	38	2.4%
舞台裏（楽屋、設備室等）の充実	60	3.7%
演奏練習できる部屋	79	4.9%
飲食スペース	166	10.4%
ショップ・売店	55	3.4%
設備を備えた研修、会議室	68	4.2%
展示空間	61	3.8%
図書機能の充実	194	12.3%
内部デザイン	42	2.6%
駐車場の整備	106	6.6%
駐輪場の整備	86	5.4%
外観デザイン	32	2.0%
外構・緑地空間	52	3.2%
環境への配慮	47	2.9%
景観への配慮	38	2.4%
愛らんどハウスとの連携	108	6.7%
その他	33	2.1%
合計	1,602	100.0%

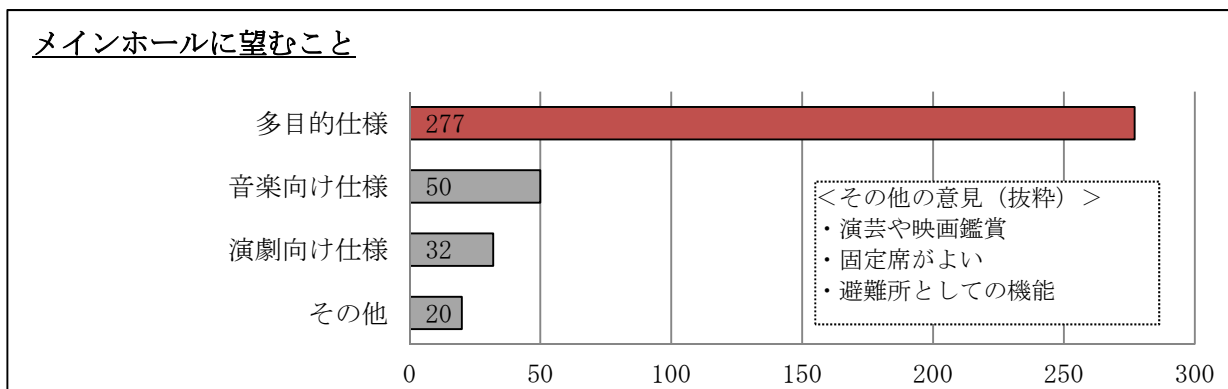
3. 住民意向の把握



③メインホールに望むこと

メインホールに望むことは、「多目的仕様」が最も高く約73%となっていますが、一方、「音楽」、「演劇」向け仕様を望む方は合わせて約22%程度あります。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
多目的仕様	277	73.1%
音楽向け仕様	50	13.2%
演劇向け仕様	32	8.4%
その他	20	5.3%
合計	379	100.0%

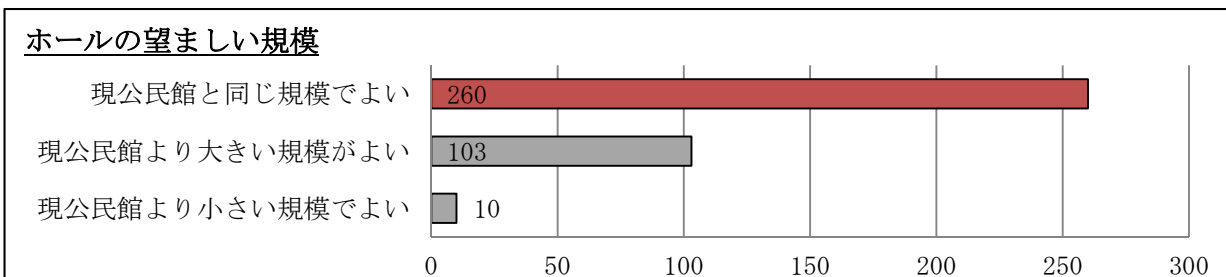


3. 住民意向の把握

④メインホールに望むこと

ホールの望ましい規模は、「現公民館と同じ規模でよい」と考えている方が約70%となっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
現公民館と同じ規模でよい	260	69.7%
現公民館より大きい規模がよい	103	27.6%
現公民館より大きい規模がよい	10	2.7%
合計	373	100.0%



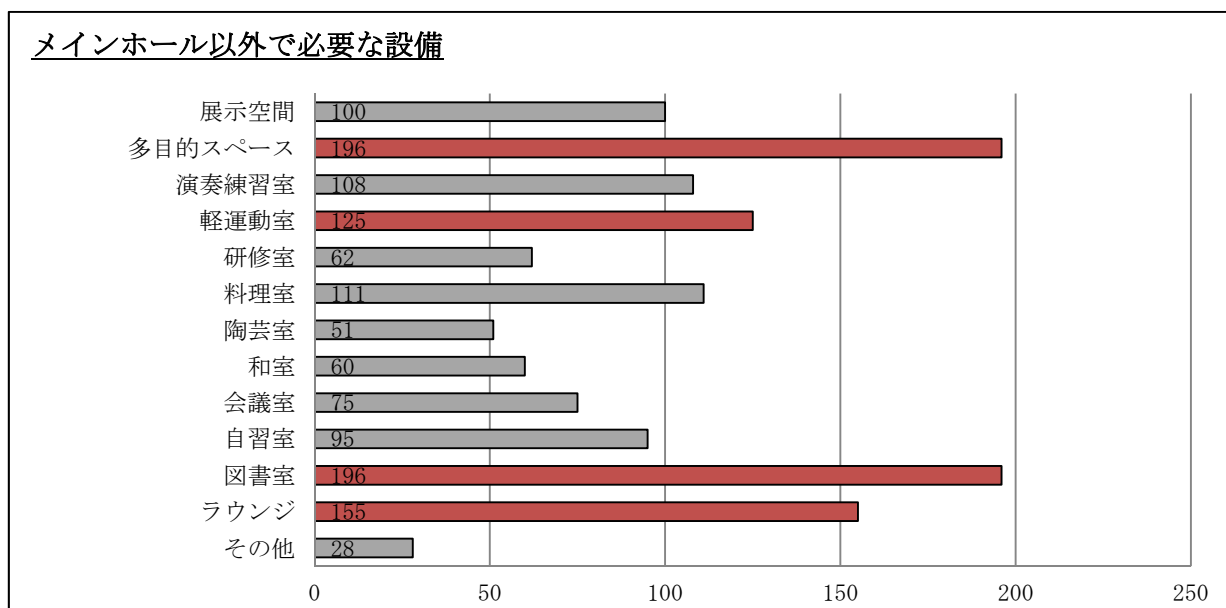
⑤メインホール以外に必要な設備

メインホール以外に期待する設備については、「図書室」、「多目的スペース」、「ラウンジ」の整備を望む回答が多く、合わせて約40%となっています。

次に、「軽運動室」の整備との回答が多くあります。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
展示空間	100	7.3%
多目的スペース	196	14.4%
演奏練習室	108	7.9%
軽運動室	125	9.2%
研修室	62	4.6%
料理室	111	8.1%
陶芸室	51	3.7%
和室	60	4.4%
会議室	75	5.5%
自習室	95	7.0%
図書室	196	14.4%
ラウンジ	155	11.4%
その他	28	2.1%
合計	1,362	100.0%

- <その他の意見（抜粋）>
- ・運動できるジム施設
 - ・大きめの図書室、講座室
 - ・託児所
 - ・卓球場
 - ・自由に演奏できるピアノを置いてほしい
 - ・ふれあいセンターと重複せずうまく活用すべき



3. 住民意向の把握

問7 総合文化センターの管理・運営方法について

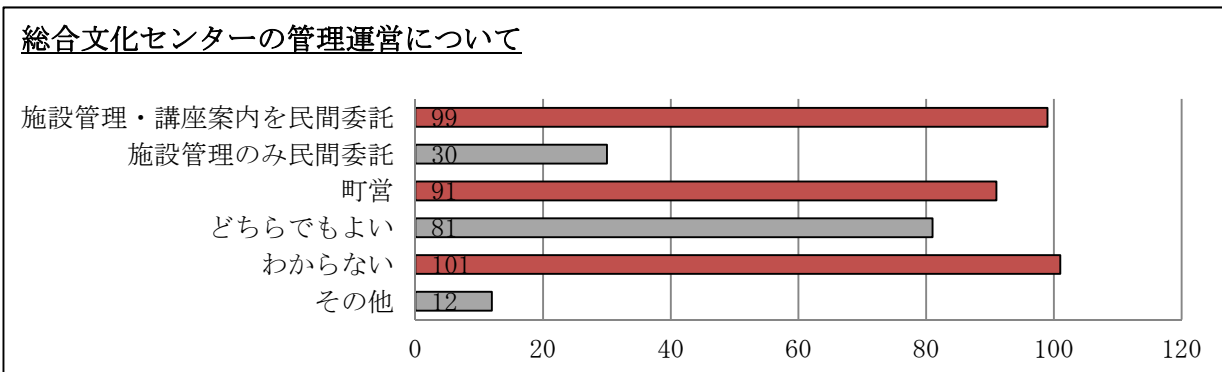
新施設での管理運営に対しては、「どちらでもよい」、「わからない」が44%となっています。

「町営」、「民間への完全委託」は、ほぼ同程度の回答数となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・費用対効果の高い運営方法を検討
- ・利用者にも安く利用できるようにしてほしい

項目	回答数(人)	回答者数に対する割合
施設管理・講座案内を民間委託	99	23.9%
施設管理のみ民間委託	30	7.2%
町営	91	22.0%
どちらでもよい	81	19.6%
わからない	101	24.4%
その他	12	2.9%
合計	414	100.0%



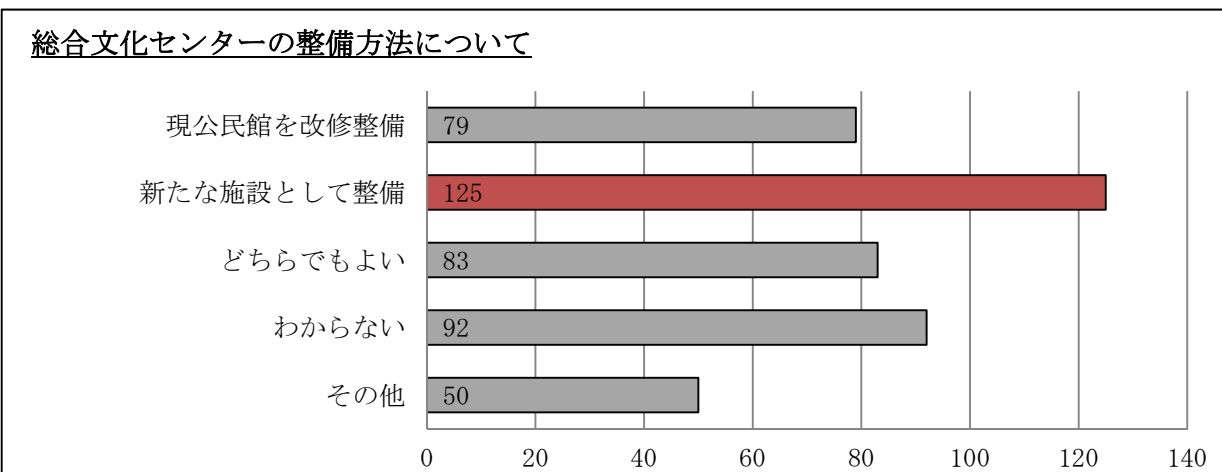
問8 総合文化センターの整備方法について

新施設の整備方法については、「どちらでもよい」、「わからない」が約40%となっていますが、「現公民館の改修整備」より「新施設としての整備」に期待する方の方が多く約30%となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・整備理由や目的を明確にして欲しい(その上で建替を検討すべき)
- ・ふれあいセンターと明確にすみ分けができるような整備をするべき、また、どのように連携していくか検討
- ・利用率アップにつながる整備を長期的な視点で検討
- ・避難所としての機能を盛り込む方がよい

項目	回答数(人)	回答者数に対する割合
現公民館を改修整備	79	18.4%
新たな施設として整備	125	29.1%
どちらでもよい	83	19.3%
わからない	92	21.5%
その他	50	11.7%
合計	429	100.0%



3. 住民意向の把握

3-3. 公民館利用団体アンケート調査

- 調査経過 令和2年（2020年）10月11日 配布開始
令和2年（2020年）11月 2日 回答期限
- 調査方法 窓口配布及び郵送等によるアンケート調査票の配布・回収
- 調査対象 公民館を利用している町内各種団体、小学校その他公共団体 69団体
- 改修結果 回収数 60団体（回収率 87.0%）

○アンケート内容の概略

- 問1 属性について
・団体構成人数、年齢層、主要な職業の把握
- 問2 団体の活動について
・利用内容や目的、利用頻度の把握
- 問3 現公民館の利用動向について
・利用場所、利用頻度、現公民館への不満等の把握
- 問4 公民館の管理運営について
・現公民館に対する要望や意見の把握
- 問5 現公民館以外での生涯学習、文化芸術等活動の状況について
・現公民館以外に利用している施設や目的の把握
- 問6 生涯学習、文化芸術等活動を行うにあたっての要望について
・各活動に重要となる指標、総合文化センターに期待する機能等の把握
- 問7 総合文化センターの管理運営について
・総合文化センターにおける管理運営方式に望むことの把握
- 問8 総合文化センターの整備方法について
・総合文化センターの整備方法に対する要望の把握
(現建物改修、建て替え、移転等)

3. 住民意向の把握

○利用団体アンケート集計結果

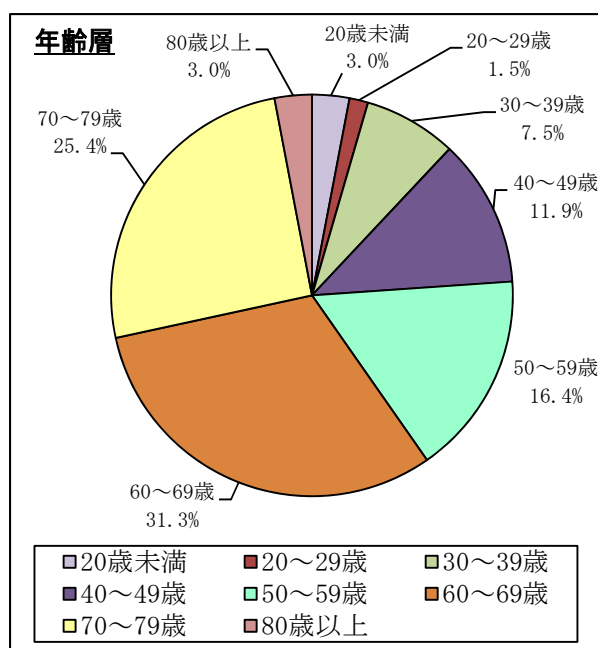
- ※1) 各集計結果について、設問に対して無回答、未記述のものも含まれますので、回収数と回答数が一致しないことがあります。
- ※2) 各アンケートの設問には複数回答可能なものも含まれてます。
- ※3) 各表の割合値については、小数点第2位で四捨五入した数値を示しており、最も回答数の大きな項目で、端数調整しています。

問1 属性について

①年齢層

回答のあった団体の年齢層については、回答者数（69件）に対する割合では60歳代、70歳代で全体の約57%となっています。

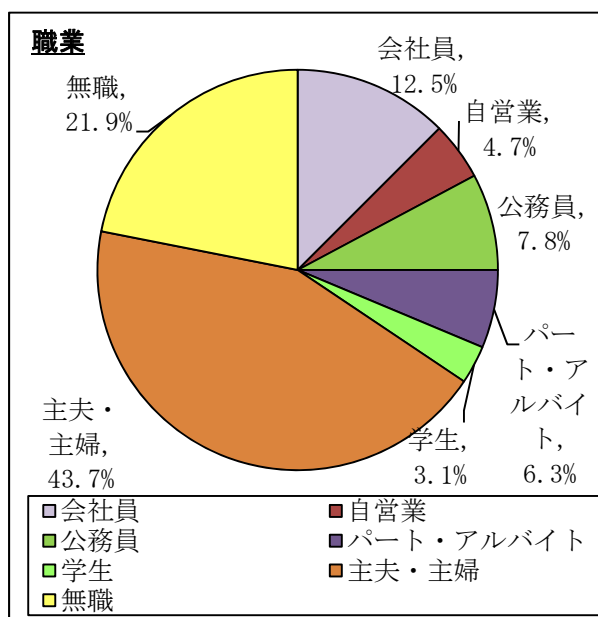
項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合
20歳未満	2	3.0%
20～29歳	1	1.5%
30～39歳	5	7.5%
40～49歳	8	11.9%
50～59歳	11	16.4%
60～69歳	21	31.3%
70～79歳	17	25.4%
80歳以上	2	3.0%
合計	67	100.0%



②団体を構成する方の主な職業

職業の構成をみると、「主婦」が約半数を占めて最も高くなっており、次いで、「無職」の方になっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合	備考
会社員	8	12.5%	※契約社員含む
自営業	3	4.7%	※会社経営含む
公務員	5	7.8%	
パート・アルバイト	4	6.3%	
学生	2	3.1%	
主夫・主婦	28	43.7%	
無職	14	21.9%	
合計	64	100.0%	



3. 住民意向の把握

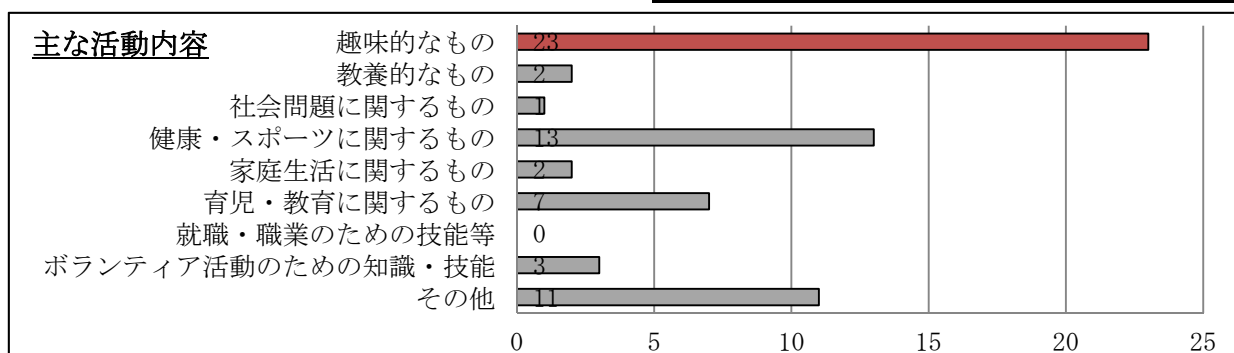
問2 団体の活動について

① 主な活動内容

主な活動内容等は、「趣味的なもの」が最も高く、約37%となっています。

- <その他の意見（抜粋）>
- ・地域自治、組織活動
 - ・社会福祉
 - ・小中学生、幼稚園関連の活動
 - ・観光促進

項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合
趣味的なもの	23	37.2%
教養的なもの	2	3.2%
社会問題に関するもの	1	1.6%
健康・スポーツに関するもの	13	21.0%
家庭生活に関するもの	2	3.2%
育児・教育に関するもの	7	11.3%
就職・職業のための技能等	0	0.0%
ボランティア活動のための知識・技能	3	4.8%
その他	11	17.7%
合計	62	100.0%

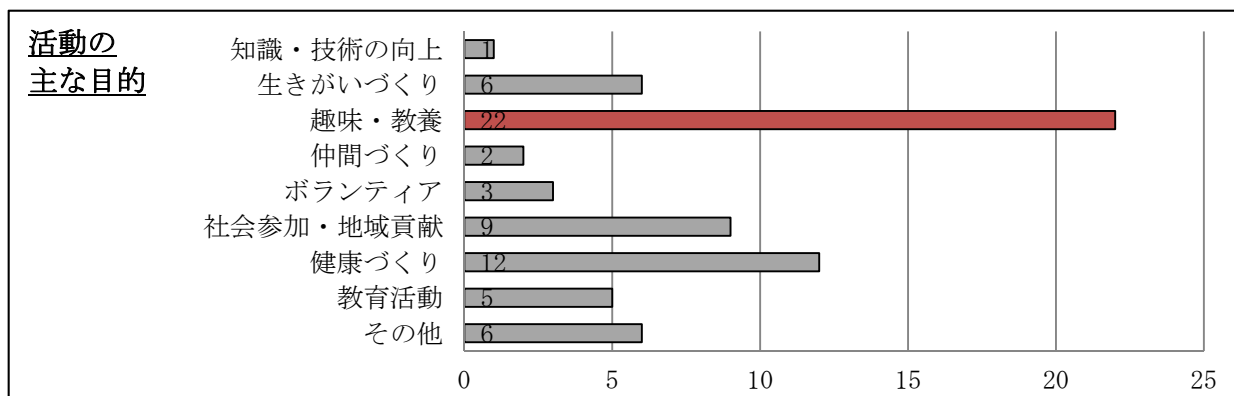


② 活動の主な目的

主な活動目的は、「趣味・教養」が最も高く、約33%となっています。

- <その他の意見（抜粋）>
- ・地域福祉促進
 - ・就学前児童福祉、乳児保育等推進

項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合
知識・技術の向上	1	1.5%
生きがいづくり	6	9.1%
趣味・教養	22	33.4%
仲間づくり	2	3.0%
ボランティア	3	4.5%
社会参加・地域貢献	9	13.6%
健康づくり	12	18.2%
教育活動	5	7.6%
その他	6	9.1%
合計	66	100.0%



3. 住民意向の把握

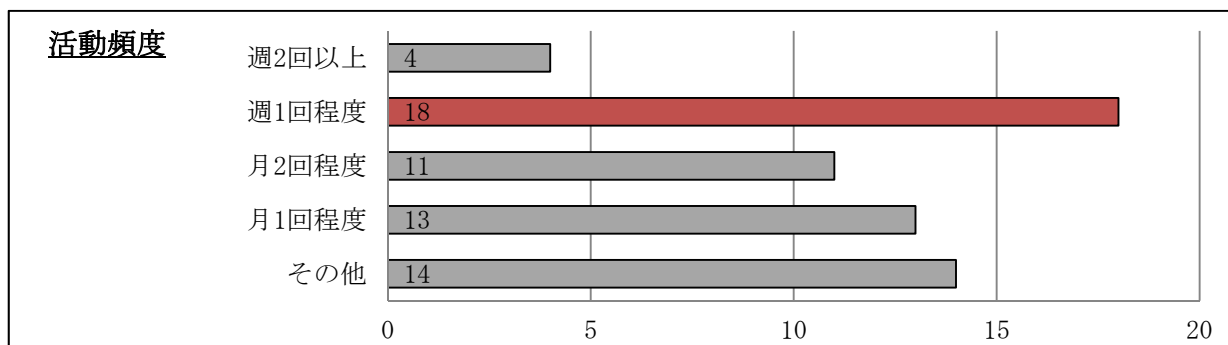
③活動頻度

活動頻度は「週1回程度」が最も高く30%となっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合
週2回以上	4	6.7%
週1回程度	18	30.0%
月2回程度	11	18.3%
月1回程度	13	21.7%
その他	14	23.3%
合 計	60	100.0%

<その他の意見(抜粋)>

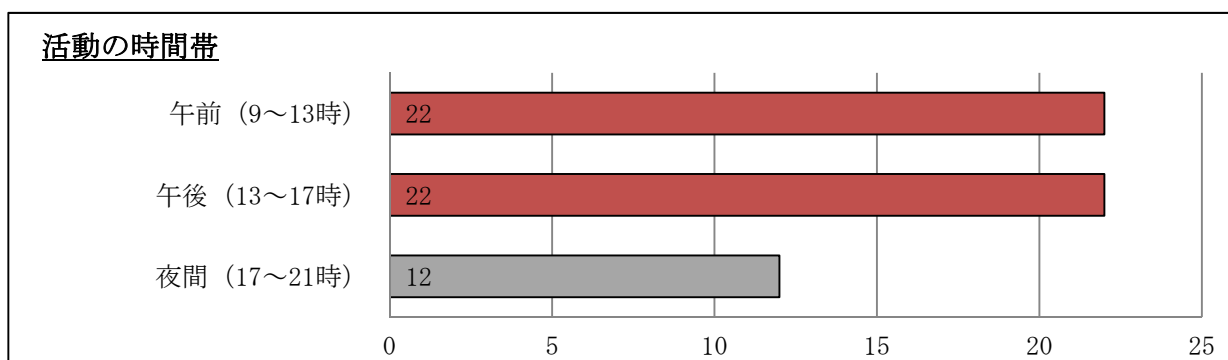
- ・月に3回
- ・年1回



④活動の時間帯

利用した時間帯は、「午前の時間帯」、「午後の時間帯」が同数でそれぞれ約40%となっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に 対する割合	備考
午前	22	39.3%	9～13時
午後	22	39.3%	13～17時
夜間	12	21.4%	17～21時
合 計	56	100.0%	



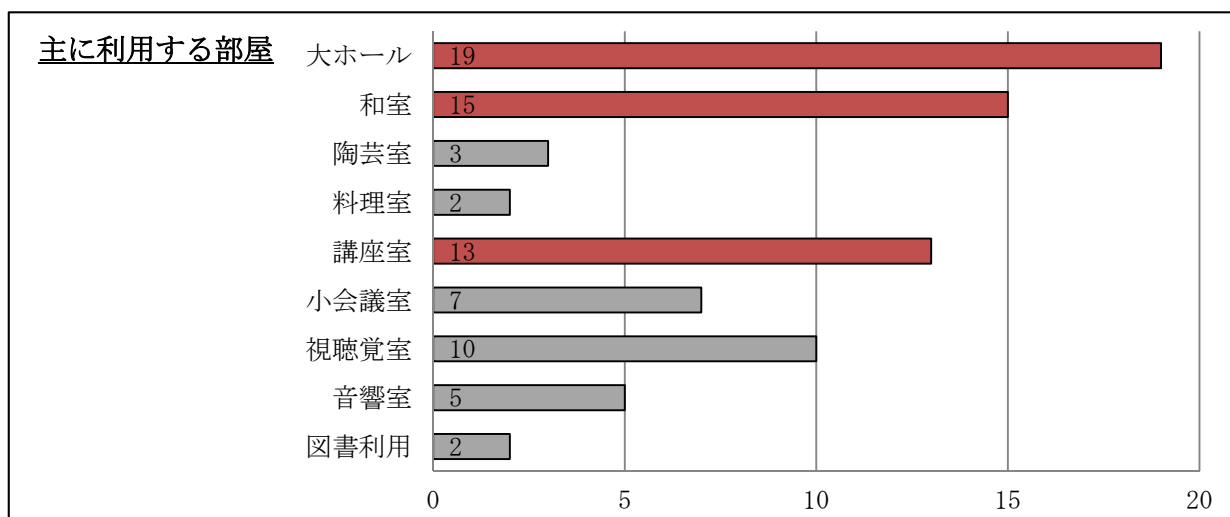
3. 住民意向の把握

問3 現公民館の利用動向について

③主に利用する部屋

公民館での活動で主に利用する部屋については、「大ホール」が最も多くて約25%、次に「和室」、「講座室」となっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
大ホール	19	25.1%
和室	15	19.7%
陶芸室	3	3.9%
料理室	2	2.6%
講座室	13	17.1%
小会議室	7	9.2%
視聴覚室	10	13.2%
音響室	5	6.6%
図書利用	2	2.6%
合計	76	100.0%

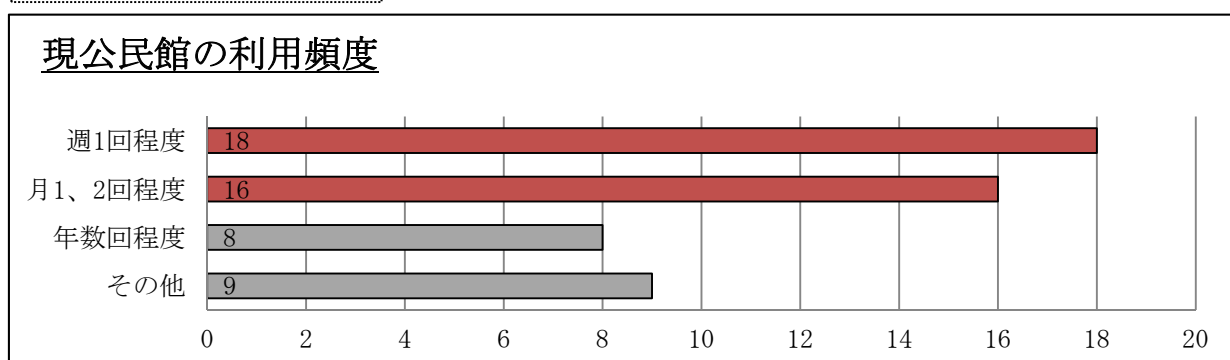


④利用頻度

団体で公民館を利用する頻度は、「週1回程度」が最も高く、約35%となっており、次に「月1、2回程度」が約31%になっています。

<その他の意見（抜粋）>
・月3回

項目	回答数（人）	回答者数に対する割合
週1回程度	18	35.3%
月1、2回程度	16	31.4%
年数回程度	8	15.7%
その他	9	17.6%
合計	51	100.0%



3. 住民意向の把握

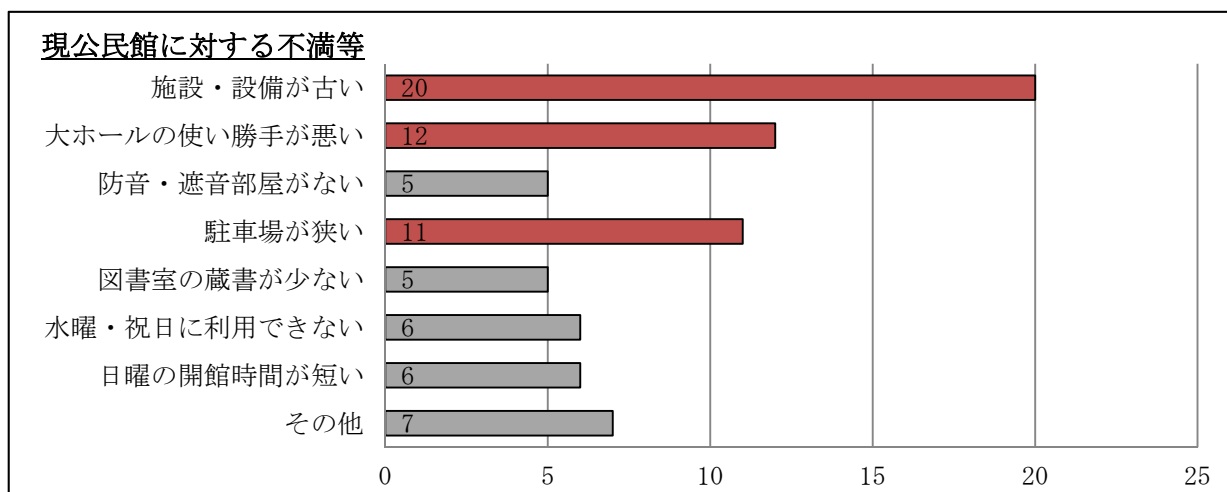
⑤ 不満に感じるところ

現公民館に対する不満については、「施設・設備が古い」が最も多くて約28%、次に「大ホールの使い勝手が悪い」、「駐車場が狭い」で合わせて32%となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・網戸がない(和室)
- ・控室や各部屋の備品置場等がない
- ・図書関連: 専門書がない、返却ポストが欲しい
司書が数年で変わる
- ・利用料関連: 減免時手続が煩雑
請求書を出してほしい
- ・バリアフリーの未整備
- ・防災拠点としての機能がない

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
施設・設備が古い	20	27.9%
大ホールの使い勝手が悪い	12	16.7%
防音・遮音部屋がない	5	6.9%
駐車場が狭い	11	15.3%
図書室の蔵書が少ない	5	6.9%
水曜・祝日に利用できない	6	8.3%
日曜の開館時間が短い	6	8.3%
その他	7	9.7%
合計	72	100.0%



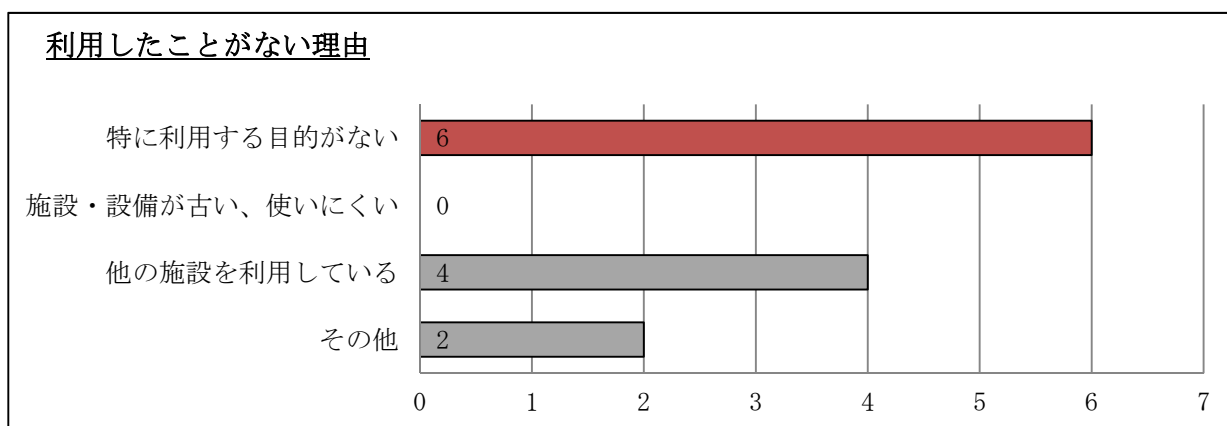
⑥ 利用したことがない理由

利用したことがない理由としては、「利用目的が特がない」方が50%と高くなっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・ふれあいセンターを利用できないときに申し込んだ

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
特に利用する目的がない	6	50.0%
施設・設備が古い、使いにくい	0	0.0%
他の施設を利用している	4	33.3%
その他	2	16.7%
合計	12	100.0%



3. 住民意向の把握

問4 公民館の管理運営について

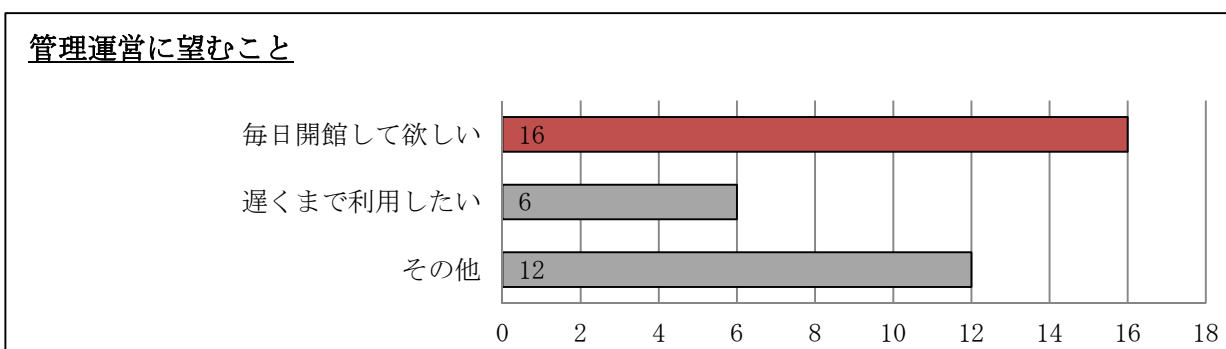
①管理運営に望むこと

管理運営に対する要望としては、「参加・体験する場」が約47%となっています

<その他の意見（抜粋）>

- ・現状のままでよい
- ・利用料を下げしてほしい
- ・祝日利用ができればよい
- ・小ホールもあればよい

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
毎日開館して欲しい	16	47.1%
遅くまで利用したい	6	17.6%
その他	12	35.3%
合計	34	100.0%



②現公民館で気づいた点、意見（自由意見）

- ・建物や設備、備品、陶芸窯等が古い。
- ・防音性能が悪い。
- ・機材の取扱いの説明書が欲しい。（職員も理解してないことがある）
- ・図書室を充実して欲しい、特に子供が利用できる図書を充実。
- ・椅子の出し入れが不便。
- ・展示用の台や長机が使いづらい。（重い、固い等）
- ・展示物の設営がしにくく、他クラブとの併用だと長期展示できないのが不便。
- ・使用目的に見合った広さの部屋が少ない。
- ・一時的な託児場所があれば利用しやすい。
- ・利用料の減免が必要。
- ・予約関係：予約状況がHP等から確認できない、当日予約できない、予約時間設定を半分にしたら利用しやすい等。
- ・町民が集うようにイベントを工夫して欲しい。
- ・バリアフリーが不十分。
- ・舞台の奥行きが狭い。
- ・ホールを土足利用したい。
- ・駐車場が狭い。
- ・特に不満等はない。

3. 住民意向の把握

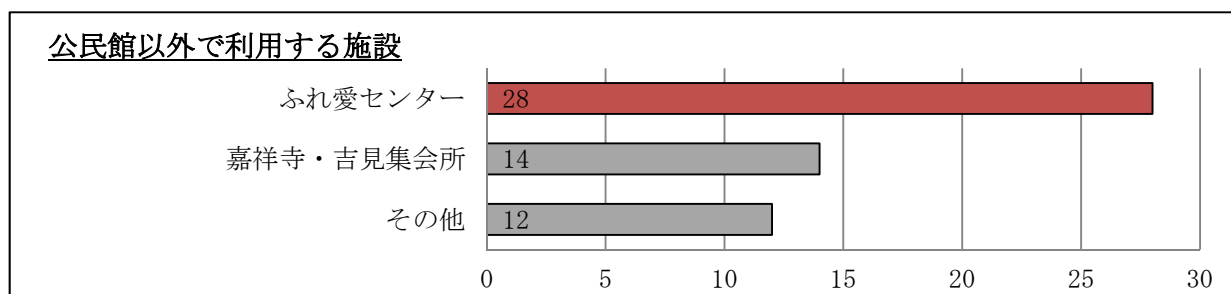
問5 公民館以外で利用している施設について

①公民館以外で利用している施設

公民館以外に利用する施設は、「ふれ愛センター」が約半数となっています。

- <その他の意見(抜粋)>
- ・泉佐野市立生涯学習センター
 - ・熊取町立図書館
 - ・阪南市立公民館

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
ふれ愛センター	28	51.9%
嘉祥寺・吉見集会所	14	25.9%
その他	12	22.2%
合計	54	100.0%



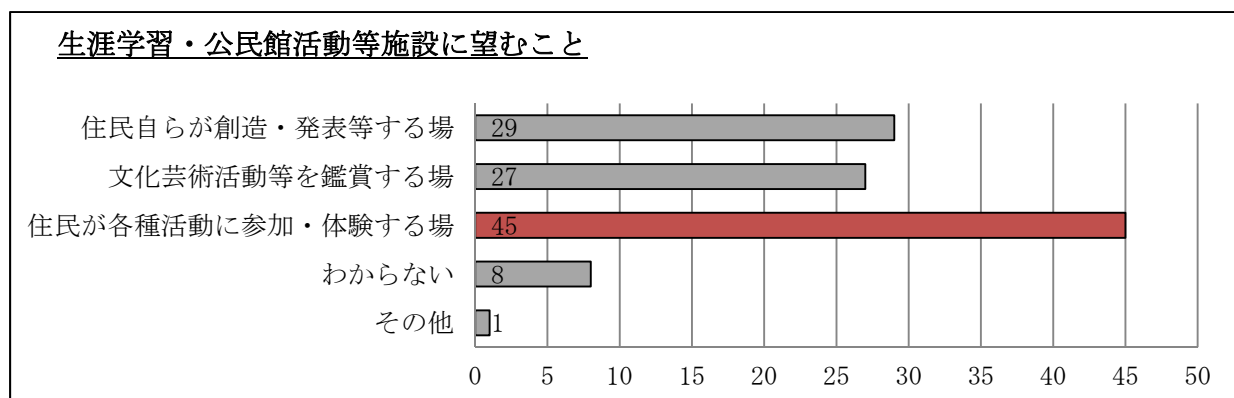
問6 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むことについて

①生涯学習・公民館活動等施設に望むこと

生涯学習活動・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むこととして、「住民が各種活動に参加・体験する場」の提供が最も高く、約41%となっています。

- <その他の意見(抜粋)>
- ・情報収集、コミュニティ形成の場

項目(※複数回答可)	回答数(人)	回答者数に対する割合
住民自らが創造・発表等する場	28	25.7%
文化芸術活動等を鑑賞する場	27	24.8%
住民が各種活動に参加・体験する場	45	41.3%
わからない	8	7.3%
その他	1	0.9%
合計	109	100.0%



3. 住民意向の把握

②総合文化センターに特に重要な項目

総合文化センターに望む、特に重要な項目については、「メインホールの設備」が最も多く約10%、「舞台機能の充実」、「利用しやすい座席の客数」のホール関連項目と合わせると約25%となっており、次に、「愛らんどハウスとの連携」が約9%となっています。

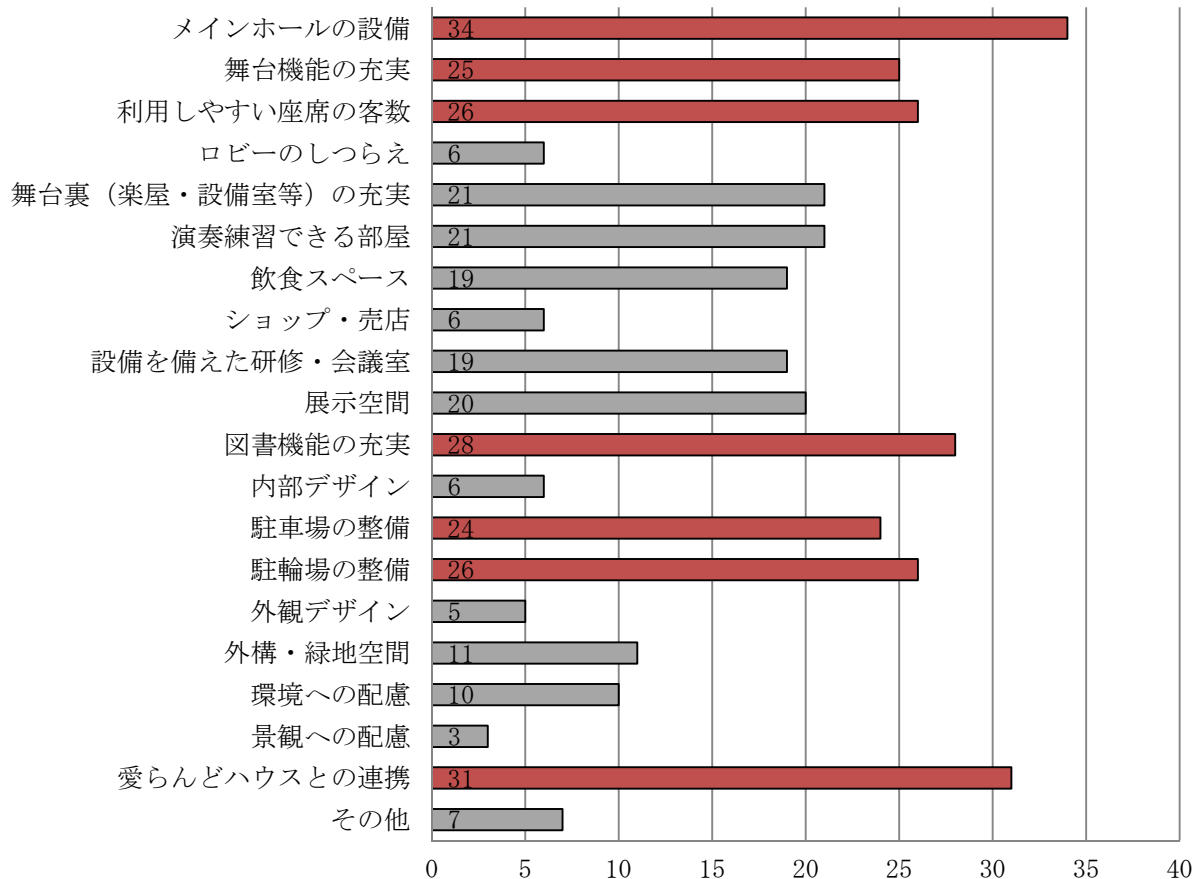
また、「図書機能の充実」、「駐車場・駐輪場の整備」への意見も多く、その他、意見として、多目的室・イベントホールの設置の要望もあります。

<その他の意見（抜粋）>

- ・多目的室、イベントホールの設置
- ・Wi-Fiの導入
- ・バリアフリー化

項目（※複数回答可）	回答数 （人）	回答者数に 対する割合
メインホールの設備	34	9.8%
舞台機能の充実	25	7.2%
利用しやすい座席の客数	26	7.5%
ロビーのしつらえ	6	1.7%
舞台裏（楽屋、設備室等）の充実	21	6.0%
演奏練習できる部屋	21	6.0%
飲食スペース	19	5.5%
ショップ・売店	6	1.7%
設備を備えた研修、会議室	19	5.5%
展示空間	20	5.7%
図書機能の充実	28	8.0%
内部デザイン	6	1.7%
駐車場の整備	24	6.9%
駐輪場の整備	26	7.5%
外観デザイン	5	1.4%
外構・緑地空間	11	3.2%
環境への配慮	10	2.9%
景観への配慮	3	0.9%
愛らんどハウスとの連携	31	8.9%
その他	7	2.0%
合計	348	100.0%

総合文化センターに特に重要な項目

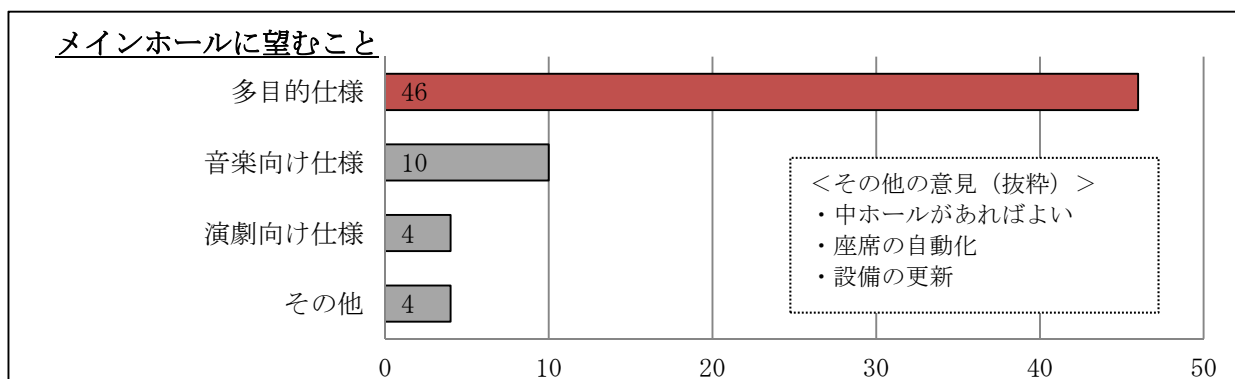


3. 住民意向の把握

③メインホールに望むこと

メインホールに望むことは、「多目的仕様」が最も高く、約72%となっていますが「音楽」、「演劇」向け仕様を望む方は合わせて約22%程度あります。

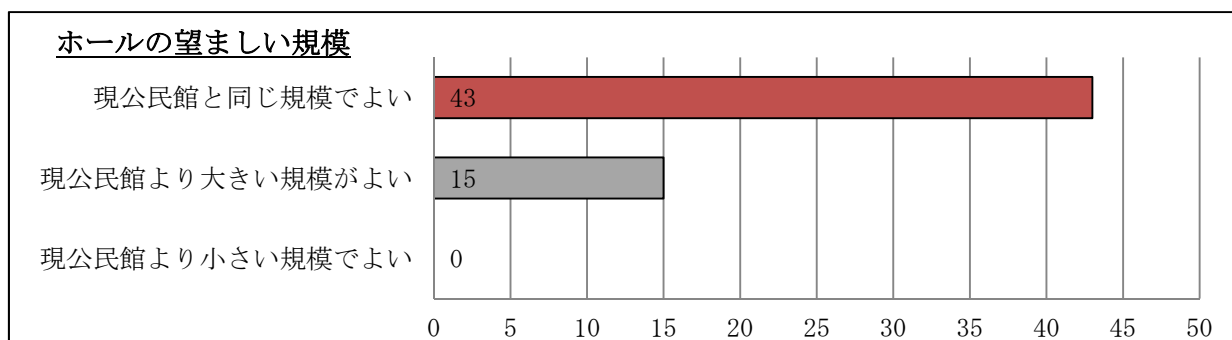
項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
多目的仕様	46	71.8%
音楽向け仕様	10	15.6%
演劇向け仕様	4	6.3%
その他	4	6.3%
合計	64	100.0%



④メインホールに望むこと

ホールの望ましい規模は、「現公民館と同じ規模でよい」と考えている方が約74%となっています。

項目（※複数回答可）	回答数（人）	回答者数に対する割合
現公民館と同じ規模でよい	43	74.1%
現公民館より大きい規模がよい	15	25.9%
現公民館より大きい規模がよい	0	0.0%
合計	58	100.0%



3. 住民意向の把握

⑤メインホール以外に必要な設備

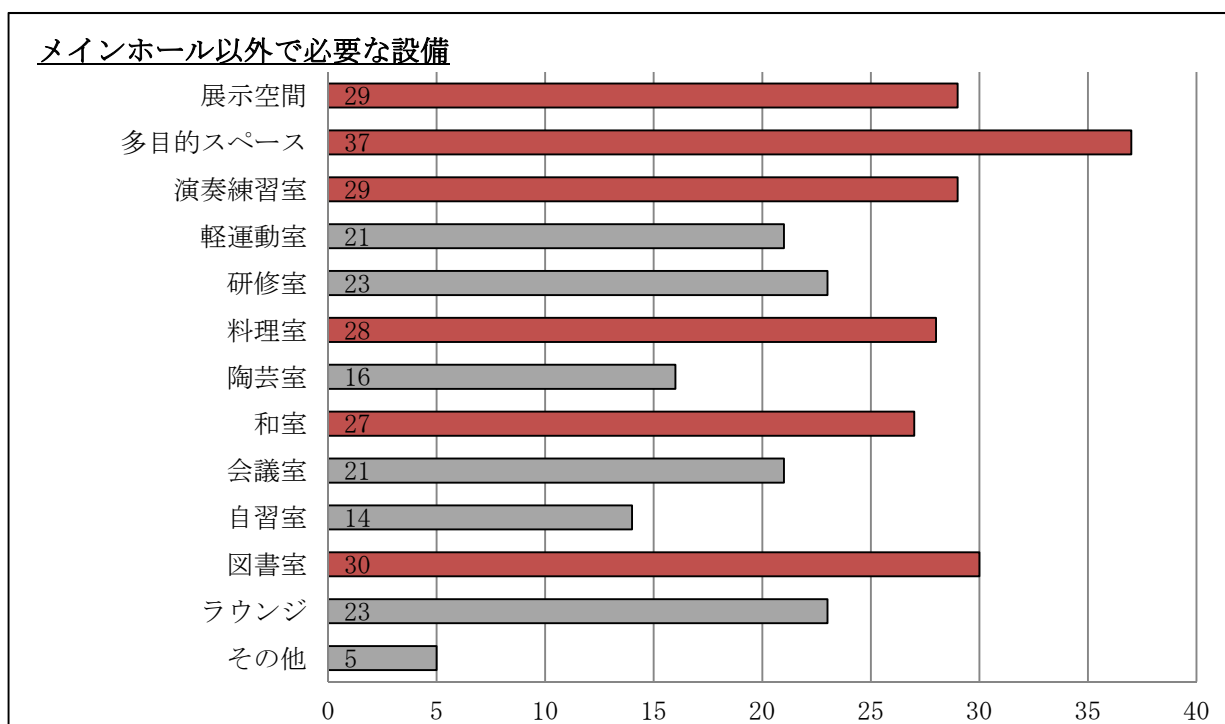
メインホール以外に期待する設備については、「多目的スペース」が約12%と最も多くあります。

次に「図書室」、「展示空間」、「演奏練習室」、「料理室」、「和室」と、普段の活動等で利用している設備への期待が多くあります。

<その他の意見（抜粋）>

- ・運動室等の設置
- ・バリアフリー化
- ・大きめの研修室（100名程度）、
反対に小規模な会議室（10名程度）
- ・防音室
- ・鏡張りの部屋

項目（※複数回答可）	回答数 （人）	回答者数に 対する割合
展示空間	29	9.6%
多目的スペース	37	12.2%
演奏練習室	29	9.6%
軽運動室	21	6.9%
研修室	23	7.6%
料理室	28	9.2%
陶芸室	16	5.3%
和室	27	8.9%
会議室	21	6.9%
自習室	14	4.6%
図書室	30	9.9%
ラウンジ	23	7.6%
その他	5	1.7%
合 計	303	100.0%



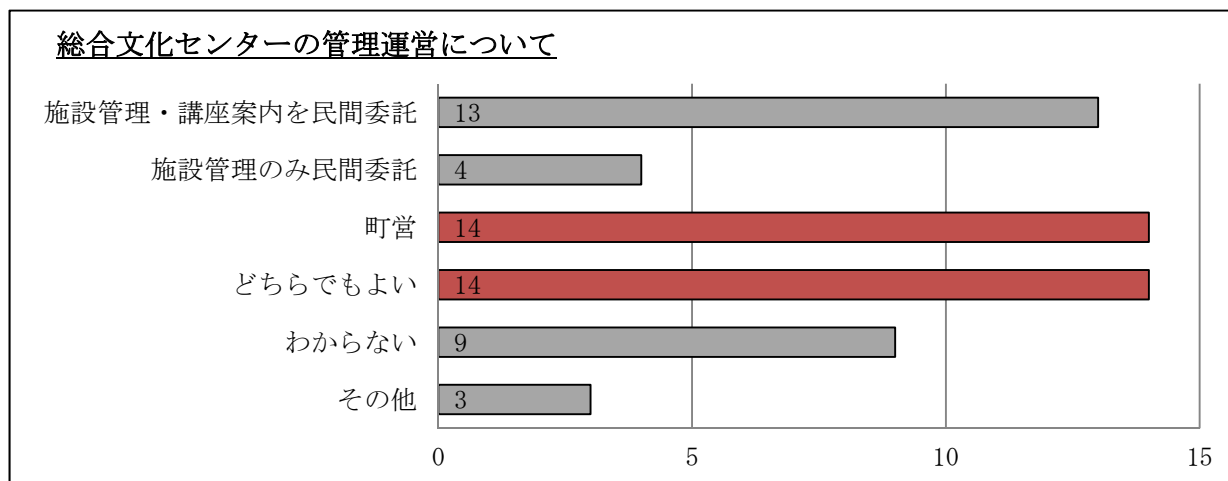
3. 住民意向の把握

問7 総合文化センターの管理・運営方法について

新施設での管理運営に対しては、「どちらでもよい」、「わからない」が約40%となっています。

「町営」、「民間への完全委託」は、ほぼ同程度の回答数となっています。

項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合
施設管理・講座案内を民間委託	13	22.8%
施設管理のみ民間委託	4	7.0%
町営	14	24.6%
どちらでもよい	14	24.6%
わからない	9	15.7%
その他	3	5.3%
合計	57	100.0%



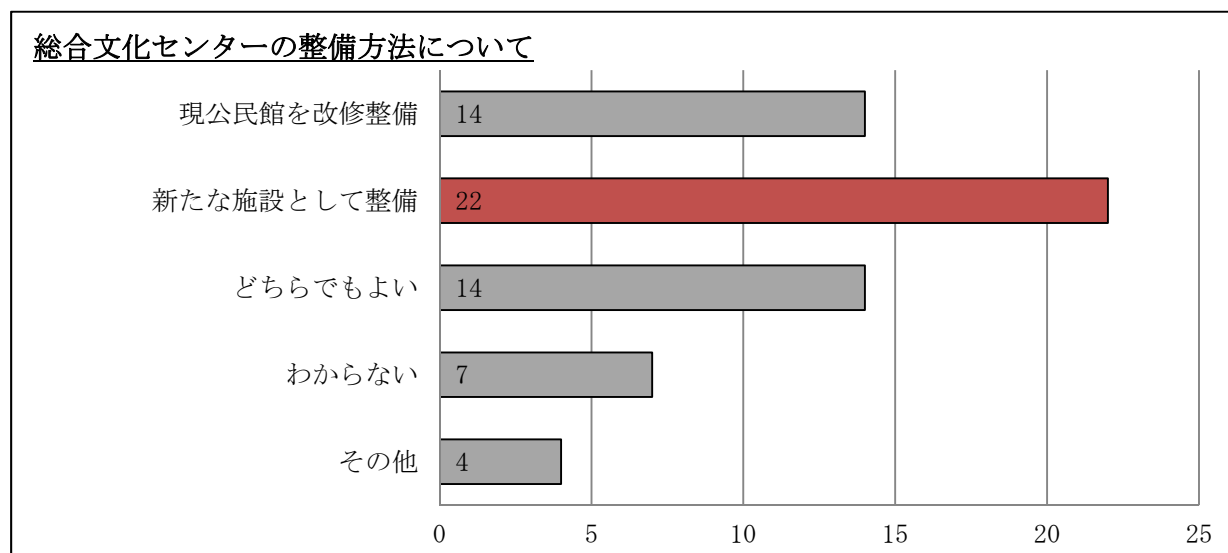
問8 総合文化センターの整備方法について

新施設の整備方法については、「新施設としての整備」に期待する方が多く、約36%となっています。

<その他の意見(抜粋)>

- ・図書室を1階にして欲しい
- ・公民館と文化センターは少し違うと考える

項目	回答数 (人)	回答者数に対する割合
現公民館を改修整備	14	23.0%
新たな施設として整備	22	36.1%
どちらでもよい	14	23.0%
わからない	7	11.3%
その他	4	6.6%
合計	61	100.0%



3. 住民意向の把握

3-4. ワークショップ

- 開催場所 田尻町公民館 1階 大ホール
- 参加者 公民館利用団体や在町学生、一般公募による 計13名
(3グループに分かれて意見交換)



- 開催時期及び開催テーマ、主な意見

(第1回) 令和2年(2020年)10月11日 ▽ワークショップの目的と役割 ▽現公民館の現状と課題
--

【主な意見】 <整備の方向性について>

- ・現公民館の改修利用か建替えか等は慎重に議論すべき。
- ・現公民館の構造を考えると改修で対応できるのか。
- ・現公民館に付加していくべき機能を必要性含めて整理する必要あり。

<現公民館のもつ課題>

- ・施設が全体的に暗く、使い勝手が悪くなってきている。
- ・図書室がアプローチしにくく、蔵書も少ない。
- ・利用目的や人数に適した貸室が少ない。
- ・利用ニーズに見合った貸室も少ない。(規模、防音性等)
- ・設備機器や備品も古くなってきている。
- ・バリアフリー対応しきれていない。
- ・住民の利用欲求は高いと考えるが、企画やイベント等で対応しきれてなかったり、拾いきれていないのではないか。
- ・多様な年齢層の利用はもちろんのこと、若年層も参加のできる仕掛けも必要と考える。

<その他>

- ・町内公共施設や周辺自治体の類似施設との連携を図るべき。
- ・他施設とのすみ分けを明確にすべき。
- ・耐震性能や防災性能についても考慮すべき。

3. 住民意向の把握

(第2回) 令和2年(2020年)10月25日
▽実現したい社会教育活動についての意見
▽社会教育活動の事例紹介

【主な意見】 <まちの特徴を生かした活動の創造>

- ・ 空港があるメリットを活かして外部から人を呼び込む工夫や講座の検討が必要。演奏家等を招くことができるような施設対応も必要ではないか。
- ・ 家族や親子でも参加できる講座を検討。
- ・ 防災情報が伝達しやすい工夫や、それに対応した講座の開催。
(スマホ操作の教育等)

<多様な世代の活動支援>

- ・ 中高年層に対しては、やさしい語学やパソコン教室、健康づくり、児童や若年層に対しては図書の充実や学習室の整備、音楽系の活動に対応した講座やイベントの検討が必要。
- ・ ヨガ活動も増えており、それに対応した貸室も求められている。
- ・ 住民の展示スペースも必要。
- ・ 昨今のリモート活動に対応したWi-Fi環境の整備等も検討。

<現公民館での活動実態からの問題点>

- ・ 昨今のコロナ禍の問題で、リモート対応等のより充実したIT環境の整備や広いスペースの確保が求められている。
- ・ パソコンやスマホの使い方教室だけでなく、町からの情報発信もしていければよい。特に町独自の発想が必要。
- ・ IT関連と体操、ヨガは主流であるが、DIYや料理クラブ、写真、演奏等があってもよいのではないか。(対応室や機器の更新が必須)
- ・ 町内のだんじりの練習場所としても利用できればよいのではないか。
(近隣の騒音問題があるため)
- ・ 新規のクラブ開設や講師の確保等、町の人口規模では団体や参加者の負担が大きいため、団体を維持することが他と比較して困難に考える。

(第3回) 令和2年(2020年)11月7日
▽生涯学習含む社会教育活動と文化芸術活動に必要な施設と設備について意見
▽類似施設の事例紹介

【主な意見】 <ホールについて>

- ・ 多目的利用できる大きさの違うものを複数整備した方がよいのではないか。
- ・ 演奏等、利用目的に備えた設備が必要ではないか。
- ・ 収納式座席やスクリーン、プロジェクター、音響設備が必要。
- ・ 控室や練習室を併設した方がよい。
- ・ 舞台が必要かも検討の余地あり。
- ・ 大ホールとしての利用頻度は少ないが、設備としては必要なもの。
- ・ ふれあいセンターや学校のステージなどを利用することも視野に入れて、ホールに必要な規模、設備等を検討するのがよい。

3. 住民意向の把握

<図書室について>

- ・読み聞かせのスペースが欲しい。
- ・蔵書が少ないため、他の図書館を利用することが多い。借りに行く手間も減らせる方がよい。
- ・多世代が利用できるように対応。
- ・図書室内の飲食禁止もなくした方がよいのではないか。
- ・図書室のみ指定管理者に委託するものよい。

<講座室等について>

- ・子どもの学習スペースが必要。
- ・マルチに対応できるよう可動間仕切がある部屋の整備が必要。
- ・階段状の教室の方が見やすい。
- ・しっかり防音対策した演奏室も欲しい。
- ・飲食やカフェ等、地域コミュニティとして利用できるカフェスペースの整備。
- ・展示スペース（常設）は必要。

<設備等について>

- ・IT環境の充実（リモート対応、ネット環境、Wi-Fi設備等）が必要。
- ・常時、利用できるパソコンを置いてほしい。
- ・エントランスはガラス張り等、明るい雰囲気にして欲しい。
- ・授乳室も設置して欲しい。
- ・使いやすい備品の選定、収納スペースの充実、団体ごとの貸倉庫整備。

<整備施設の特徴について>

- ・多世代が利用できる施設づくりを目指すべきではないか。
- ・避難場所として使用できるよう整備する方がよい。
(整備場所を含めて検討)
- ・津波対策を考慮して1階駐車施設とした場合、建物自体が高くなり、近隣に日照の影響が出るのではないか。
- ・今後の町での人口推移や町外からの集客要素、指定管理者制度の導入検討や利用料金設定等のサービスの質の確保など、検討項目として重要である。
- ・歴史館（愛らんどハウス）と連携した施設の使い方、運営方式の検討は必要。

(第4回) 令和2年(2020年)11月21日

▽総合文化センターに必要な機能と特徴の整理

【主な意見】 <様々な世代の利用を期待できる施設整備>

- ・世代を超えて利用できる施設整備。
- ・若い人が自ら企画し、集まって参加できるようなしつらえ。
- ・親子で楽しめ、子どもも参加できることも重要。
- ・多目的に利用できるホールを複数整備、大ホールも必要。
- ・(ホールは)演奏等に対応できるよう防音、音響設備だけでなく、スクリーンやプロジェクター設備の完備、収納座席も欲しい。

3. 住民意向の把握

- ・その他、階段式教室や、実験室的な部屋、展示室、飲食カフェもよい。
- ・オンラインやリモートできる設備を有して幅広く対応する方がよい。
- ・専門的にするか、汎用的にするかが課題としてある。

<災害に強くバリアフリー対応された施設整備>

- ・立地を含め、防災拠点としての機能性、安全性を備えた施設づくり。
- ・備蓄倉庫の設置。
- ・全ての年代に利用されるにはバリアフリー対応は必然。
- ・歴史館と連携した運営方法を検討。
- ・特に子どもが活動できる施設づくり。
- ・町外からの利用を見込める施設づくり。
- ・町の伝統文化を継承していける施設づくり。

<充実した図書機能をもつ、希望する活動に挑戦できる施設整備>

- ・いろいろな世代が等しく利用できる図書機能の充実を活用した施設づくり。
- ・読み聞かせスペースの整備や蔵書数の見直し、借りに行く手間を減らす工夫。
- ・吹奏楽やカラオケ、だんじりの太鼓練習等のできる防音室の整備。
- ・バレエ等の鏡張りの部屋の整備。（ふれあいセンターより大きい部屋）
- ・子どものための学習スペースの整備。
- ・DIYや写真、魚の捌き方等の講座もあればよいのではないか。
- ・初期に道具の必要な活動のとっかかりが新施設でできればよい。
- ・現公民館では利用人数と貸室のバランスが悪いので見直す。
- ・大ホールは利用頻度は少ないが無いと困る。収納式座席や可動壁で多目的な利用に対応できればよい。使用料も少し高額。
- ・ホールや駐車場が狭いし昨今のコロナ禍もあり、新施設は少し大きい方がよい。
- ・スマホの使い方やパソコン教室等は必要、ネット環境の導入・改善でできることも増える。YouTube等を利用した町独自の情報発信もしていきたい。
- ・施設利用率を上げることで、認知度が上がる。
- ・避難場所としての整備も重要、1階は駐車場で高床式に計画した方がよい。
- ・整備・運営の実現に障害のある事象に対しては、民間委託も視野に検討する。（安かろう、悪かろうでは意味がない）

3. 住民意向の把握

3-5. 意向調査まとめ・考察

住民及び公民館利用団体アンケート、ワークショップによる意向調査の結果、以下のような意見が多くありました。

- 総合文化センター整備については、既存公民館の再利用ではなく、新たな施設の整備を望む声が高い。
- 大ホールや図書機能の充実、対応力の強化に関心が高く、併せて、多目的に利用できるスペースを整備することを望む意見が多い。
- 施設を利用、活動を進めていく上で、オンラインやリモート等、充実したネットワーク環境の整備が求められる。
- 整備するにあたっては、防災面も考慮して整備地、施設構成等を検討する必要がある。

意向調査での意見について、次のとおり、項目ごとに整理します。

■現公民館での課題・問題点について

- ・建物や施設の設備、備品が古く、建物内も暗いイメージ。
- ・建物に入りにくく、案内もわかりにくい。
- ・大ホールは使い勝手が悪く、土足不可やパイプ椅子の座席が不満。
- ・図書室は蔵書が少なく、3階は使いにくい。オンラインによる予約・検索もできない。
- ・防音仕様の部屋がない。
- ・子供や親子で参加できるものが少ない。
- ・参加したい講座がない。
- ・駐車場が狭い。
- ・コンサートや演劇、図書の貸出については、隣接自治体施設を利用している方が多い。
- ・年間通じて公民館を利用しているのは特定の方で、利用する目的がない人が多い。

■新施設に求める機能や整備方法について

- ・新たな施設として整備を希望する意見が多い。
- ・施設運営については、町営方式、民間委託方式では差があまりない。
- ・多世代が利用しやすい施設整備、特に若年層や親子、子どもも利用しやすく、参加意欲を高められる施設づくりが必要。（バリアフリー対応も考慮する必要あり）
- ・建物内を明るい雰囲気にした方がよい。
- ・現公民館に隣接する愛らんどハウスとの連携への期待が大きい。
- ・新施設に求める機能としては、以下の意見が多い。
 - ・メインホールの整備。（舞台機能の充実、利用しやすい座席）
 - ・図書機能の充実。
 - ・多目的スペースの整備。
 - ・軽運動室、演奏等の練習室、リハーサル室の整備。
 - ・展示空間の充実。
 - ・飲食スペースやラウンジの整備。
- ・町の伝統文化や特徴を出して整備していければよりよい。
- ・避難所としての防災機能を有する施設整備への意見が多い。
その場合に、海岸際に近い現公民館の場所でよいかは再考の余地あり。

3. 住民意向の把握

■ホールに求める機能について

- ・ホールとして、大ホール機能は必要であり、多目的に利用可能なホールを希望する方が多い。
- ・大ホール以外にも少し小規模なホール若しくは部屋があれば、利用用途に応じて選択でき、利用率の向上につながりやすい。大ホールを可動間仕切等で区切れるようにするか、専用に部屋を設けるかにより対応する必要がある。
- ・ホールの大きさについては、現公民館と同程度の大きさでも支障がない。
- ・演奏や演劇等に適した防音仕様、大型スクリーンやプロジェクター、現況より広いステージは整備した方がよい。
- ・ホール内の椅子について、収納式座席（座席としてしっかりしたもの）を希望している。
- ・現在の土足不可ではなく、靴を履いたまま利用できる床の仕様が求められる。

■図書室に求める機能について

- ・蔵書数を増やしてほしい。
- ・子どもの本の充実や、読み聞かせスペースも併せて整備して欲しい。
- ・立ち寄りやすい場所に整備して欲しい。（1階や入口に近いところ）
- ・世代を問わず利用できる部分のため、うまく活用できれば良い。

■講座室等一般貸室や共用空間に求める機能について

- ・多目的に利用できるスペースが欲しい。
- ・演奏等、防音機能を有する部屋が欲しい。
- ・軽運動ができる部屋が欲しい。（できれば鏡張りの部屋も欲しい）
- ・階段型の教室が欲しい。
- ・学習室や自習室もあれば助かる。
- ・料理室、陶芸室等の設備や器具は新しくして欲しい。
- ・カフェや飲食スペースを整備して地域コミュニティ形成に活用した方がよい。

■設備に求める機能について

- ・ネットワーク環境を充実させ、図書のオンライン予約や検索を可能にしたり、Wi-Fi設備を整備したり、リモート対応等することで、より使いやすい施設づくりを目指すべき。
- ・自由に使えるパソコンを置いてほしい。

■管理・運営に求めること

- ・町内の公共施設との連携を図りつつ、特にたじりふれ愛センターとの利用方法のすみ分けを明確にした方がよい。
- ・新施設運営や住民サービスに対してメリットがあるなら民間委託も視野に検討する方がよい。

4. 総合文化センター整備の基本構想

4-1. 総合文化センター整備のコンセプト

人々がその生涯にわたり、あらゆる機会、場所において学習することができ、その資質・能力を向上し、またその成果を適切に生かすことができる生涯学習の重要性が認識されているところです。

また、文化芸術活動は、人の想像力を育むとともに、心豊かな活力ある社会の形成につながるものとされています。

田尻町は、大阪湾に面し、関西国際空港の開港にあわせ臨海部にはりんくうタウンが整備され新しい街並みが整備されているとともに、内陸部には孝子越街道沿いに古くからの市街地が形成され、山側には農地が広がっており、小さな町域ながらも都市機能と豊かな自然環境、歴史が共存するまちとなっており、人々が集い学びあい文化を育む環境としては非常に魅力ある地域といえます。

本町では、第5次田尻町総合計画において、生涯学習の推進に当たっての基本方針として、生涯学習の機会の充実、施設機能の充実を図り、住民の一人ひとりが生涯を通じて主体的に学び、充実した人生をおくるとともに、学習の成果を活かして地域に還元していけるよう、いつでもどこでも学びあえる環境づくりに取り組むことを掲げています。また、文化芸術活動の推進に当たり、住民主体の文化・芸術活動を促進し、新たな文化の創造に取り組むこととしているところです。

新たな総合文化センターの整備は、その一助となりうるものであり、上位計画や住民や団体等意見にあった課題やニーズを踏まえ、その主体的な活動の活性化や新たな活動の創出、町全体の活力を育んでいく効果が期待できます。

今回の整備は、単純な既存施設のリニューアルではなく、現状の公民館が持つ課題を克服しつつ、新たな機能の強化や複合的施設のメリットを活かした多様な活動や交流を喚起し、新しいサービスの提供や発信等への展開が図れる可能性を有しています。

については、生涯学習、図書サービス、文化・芸術等の機能を複合化することによる特徴を活かした施設整備を基本とし、子どもから高齢者まで各世代が集い、生涯学習を通じて共に学ぶ機会、場所を提供するとともに、文化に触れ、そして田尻町の文化を発信する拠点施設の実現を目指します。

コンセプト

～人が集い、文化を醸成する拠点づくり～

**各世代がふれあい、ともに学び
文化を育む総合文化センター**

4. 総合文化センター整備の基本構想

4-2. 総合文化センター整備に向けての基本方針

これまでの課題や問題点とコンセプトを踏まえ、総合文化センター整備の基本方針を以下にまとめます。

①多様な世代が利用しやすい場づくり

子どもから高齢者まで、幅広い層の方に日常的に利用していただくために、使いやすく、参加したくなるような場づくりを目指し、この場での活動を通じて様々な交流の機会を提供していきます。

特に、住民の関心の高い図書機能を充実させ、総合文化センターを知る・訪れる機会を増やすことで、新たな交流が生まれるような利用しやすい場を提供します。

②各種活動を支援し、新たに発見・挑戦できる場づくり

多様な社会教育活動・生涯学習活動を支援し、時代ごとに変化するニーズを読み取りながら、新たな活動、文化との出会い、喜びの発見をしていけるような場づくりを目指します。

また、柔軟に講座や企画、イベント等に対応できるような拠点づくりを進めます。なお、新たな拠点は単独で完結するものではなく、周辺施設と連携しつつ、相互作用の促進を図り、様々な文化との効率的かつ効果的に波及効果を広げられるよう一体的に活用できる整備を目指します。

③文化を醸成する場づくり

田尻町独自の文化を模索し、創造していくための取り組みの充実を図り、新たな文化活動を展開していく拠点づくりを目指します。

④災害に強く、安心・安全に長く使える場づくり

住民に安心・安全に利用していただけるよう、非常時に対応した防災機能の導入や避難所としての機能の確保等、防災・減災に資する施設の整備を目指します。

また、施設をより永く利用していただくためにも、効率的な維持保全を図れるような整備を図ります。

4. 総合文化センター整備の基本構想

4-3. 総合文化センターの導入機能の方向性

新たな総合文化センターの施設整備の方向性（導入機能）については、以下の点を重視し、多目的ホール、図書機能、公民館・生涯学習施設を中核として構成する複合施設での整備の検討を進めるものとします。

【重要視する点】

○多機能に利用できるホール等機能への期待

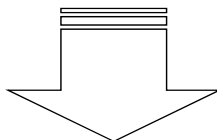
- ・町内には収容力が高く、特に演芸・演奏等の活動に適したホールがないため、周辺の自治体の類似施設を利用するほか、十分に機能が整っているとはいえない現公民館を利用している状況です。
- ・そのため、様々な活動を発表、披露でき、質の高い文化・芸術に触れ合える機会を増やす拠点となるような文化ホールの整備が求められています。
- ・一般的なホールとしての利用はもちろんのこと、演奏・演劇等に適したステージや座席方式、防音仕様、バックヤード整備等を考慮したものとします。

○充実した図書機能を活かした、町の活力を育む拠点整備への期待

- ・一定の集客力を確保する観点からも要望の高い図書機能を充実させて、本やその他情報媒体を介して、様々な世代の方に利用されるような整備が望まれています。
- ・それにより、普段から利用したことがない層の抽出を促し、文化センターにおける情報発信、交流の創出の機会を増大させることを期待します。
- ・蔵書数の増加、読書に付帯するスペースの整備、ネットワーク環境の改善によるサービス利用の向上が求められます。

○多様な社会教育活動・生涯学習活動を支援する拠点整備への期待

- ・総合文化センターは、様々な住民の活動を抑制するものであってはならず、幅広い層の参加を期待する上で、町に潜在する各種活動の要求に十分に対応可能な整備が求められています。
- ・特に、多機能、多用途に対応できるスペース、防音機能を有した部屋の整備が強く求められていることから、これら施設を整備することにより、住民の活動をより一層支援・後押しする拠点整備が図れます。



【主な機能の方向性】

”機能的なホール”と”充実した図書機能”を中心に、様々な活動を通じ、新しいカタチの体験、学習、発見、発信を行い、皆さまに安心して利用いただける文化活動の拠点づくりを目指します。

4. 総合文化センター整備の基本構想

4-4. 新たな施設の整備方針

(1) 多目的ホール（メインホール）

◇ニーズや課題

- ・設備の充実…防音設備、音響・映像設備、リハーサル室や控室の併設等
- ・舞台の充実…奥行や大きさ、照明設備等
- ・ホール仕様…収納式座席（階段式）の採用、多用途に対応（可動間仕切）
- ・収容人数は既存と同程度でよい

◇整備方針

- ・規模について、多様な用途に対応する場合、かなり大規模なものが想定されるが、現状のイベント規模や頻度では十分な利用率が確保できないことが予想され、リスクが高いため、ホールは1室とし、現状と同程度の200～300席程度の整備を目指します。
- ・多用途への対応のために可動間仕切等で区切って多目的に利用するのはホールの特性上構造的に困難であるため、ホールとは別に多目的（多機能）スペースを導入します。
- ・演奏・演劇に適したホールが町内にないため、音響、防音、照明等設備や付帯施設（控室、リハーサル室等）を整備し、利用実態に十分配慮します。
- ・災害時の避難スペースとしての利用にも耐えうる仕様とします。

(2) 図書機能（図書室）

◇ニーズや課題

- ・蔵書の充実
- ・開架スペースの拡充
- ・子どもの読み聞かせスペースの整備や児童用書籍の充実
- ・アプローチしやすい位置での整備
- ・貸出や検索のしやすさに対する工夫

◇整備方針

- ・蔵書数については、周辺の類似施設と同等程度のものを目標とし、現在の蔵書数をはるかに上回る50,000冊程度の蔵書が可能なスペースを確保します。
- ・田尻町の文化や歴史、郷土資料、行政資料、住民ニーズが高いテーマのもの、時事に関するものも充実させて、そこで行われる活動を支援していきます。
- ・開架、閲覧スペースの拡充はもちろんのこと、子どもから高齢者まで、ゆったりとくつろいで読書ができる環境（ソファや外の光の明るさを感じながら利用できる環境）を整備し、普段から気軽に集まれる空間を創出します。
大活字本、点字や音声、視聴覚資料等のバリアフリー対応も併せて整備していきます。
- ・子どもの時の読書は教育だけでなく人間形成上重要な役割があることから、読み聞かせや親子で楽しめる場の提供を図ります。
- ・遠隔利用や情報の電子化に対応した機能・設備の導入、充実を図ります。

4. 総合文化センター整備の基本構想

(3) 公民館、生涯学習センター、展示空間

◇ニーズや課題

- ・多目的に利用できる空間の整備
- ・様々な世代に対応した生涯学習へ参加機会の拡充
- ・ギャラリーや展示スペースの充実
- ・要望の高い子どもや学生が利用できる学習スペースも必要
- ・現在隣接する田尻歴史館（愛らんどハウス）との連携を図る意味でも、歴史資料の展示等を充実させる。
- ・建物はオープンで明るい雰囲気になるように整備
- ・施設や活動の情報発信の方法に工夫が必要

◇整備方針

- ・学習活動の拠点となるセンター機能の充実を図ります。
- ・多目的に利用できるよう可動間仕切により区分できる部屋の整備。
（軽運動やリハーサル、各種練習等、壁面鏡や防音、遮音仕様も検討）
- ・学習室や個室等の自習スペースを整備し、子どもや学生の学習意欲を高めます。
（図書空間との棲み分けも考慮）
- ・多様な世代に応じた生涯学習活動の参加の機会の拡充を図ります。
- ・活動団体やサークルの育成、支援に努めて、自主性、創造性を創出させるような環境づくりを目指します。（展示スペースやコミュニティラウンジ等の整備）
- ・町の貴重な歴史資料や文化遺産、史跡を外部に広く情報発信し意識を高めます。

◇複合施設としての利点を活かした機能に対する方針

- ・田尻町文化を発信する拠点として、交流事業やイベントの実施、活動成果の発表の場として、ホールや展示スペースの機能の充実を図り、多くの方に利用し、交流していただけるような施設整備をします。
- ・絵本や児童書、一般図書等、多くの本に触れていただく機会を提供できるよう図書機能の充実を図ります。
また、自習スペースやキッズスペース、交流スペース等、幅広く利用いただけるような図書空間づくりを図ります。
- ・充実させた図書機能を展示スペース、歴史資料等と連携させることで、関連したイベントによる交流や体験ができる機能の導入が可能となり、センターの活性化を図ります。
- ・施設のエントランス空間は、利用者をやさしく迎え入れ、集まりやすい魅力ある空間を目指し、全体の集客力を高めていきます。
また、各活動の魅力や情報を積極的に発信、PRを行えるようにロビーやラウンジ等を活用することで、利用者が他の活動に興味がいき、参画したくなるような環境づくりを図ります。

4. 総合文化センター整備の基本構想

(4) 施設整備における共通機能

○誰もが利用しやすい環境づくり

- ・ 全体的な段差解消やエレベーター等昇降機設置により、バリアフリー化を図ります。
- ・ 案内表示や用語も、初めて利用される方でもわかりやすい環境づくりを図ります。
- ・ 高齢者や障がい者、小さな子ども連れの方等にも配慮した、トイレや授乳室等の施設整備を目指します。
- ・ 住民の車利用に配慮して、必要な規模の駐車場・駐輪場を整備します。
- ・ ニーズの変化にできるだけ対応できる、柔軟な運営や空間づくりを目指します。

○防災・減災に配慮した環境づくり

- ・ 住民の避難所として機能できるよう配慮し、施設の耐震化を図るとともに、被災者が一定期間滞在することを想定した避難所スペースの整備や防災備蓄品の保管等、防災機能の強化を図ります。
- ・ 災害時の一定期間のインフラ供給が可能なように、自然エネルギーや自家発電設備の導入や中水の確保等、準備できる設備を検討します。
- ・ 町自体、沿岸に近い地域のため、新たに施設を建設するにあたっては、建物1階部分を駐車場として計画し、できる限り施設機能を2階以上に計画することとします。

○環境に配慮した施設づくり

- ・ LED等、省エネルギー型の器具の選定や太陽光発電等の自然エネルギーの活用等、導入を検討します。

4. 総合文化センター整備の基本構想

4-5. 新たな施設構成と概略規模の検討

以上の条件等を踏まえ、新たな総合文化センターの施設構成と規模については、以下のように延床面積で約4,000㎡（駐車場除く）と想定されます。

必要な敷地規模については、地上3階建て程度を理想として、約4,500㎡と想定されます。

新たな施設全体の施設構成・規模の概要

項目		想定面積 (㎡)	備考
建物	文化ホール部門	850	下表より
	図書室部門	1,050	下表より
	公民館部門	1,800	下表より
	多目的空間	150	可動間仕切等により2室利用を見込む
	展示スペース ラウンジ等	180	エントランスや通路等に面して整備し、企画等にも対応可能なつくりとする
合計		4,030	延床面積ベース
駐車施設		1,400	40台程度 建物下整備の場合
合計（駐車場込）		5,430	

※各施設個別の構成・規模の概要

部門・項目		想定面積 (㎡)	備考
文化ホール	メインホール	300	収納式可動座席 250席程度 ステージ含む
	ホール付帯施設	300	控室、リハーサル室、音響・放送室等
	その他共用部分	250	待機スペース、専用収納庫等
	文化ホール部門 計	850	
図書室	開架スペース	450	蔵書 約5万冊
	児童開架スペース	100	読み聞かせスペース含む
	ブラウジング等	120	視聴覚コーナー、障がい者サービス含む
	サービススペース	60	総合案内、検索スペース等
	バックヤード	200	整理作業、閉架倉庫等
	その他共用部分	120	
図書室部門 計		1,050	
公民館	講座室	120	20人定員 3室程度
	体験室	150	講座室、創作室（陶芸等）、音響室、和室等
	自習室、学習室	100	
	活動支援スペース	230	会議室、視聴覚室、情報コーナー、活動室等
	その他共用部分	1,200	他部門兼用の管理部門、設備室、収納等
公民館部門 計		1,800	

4. 総合文化センター整備の基本構想

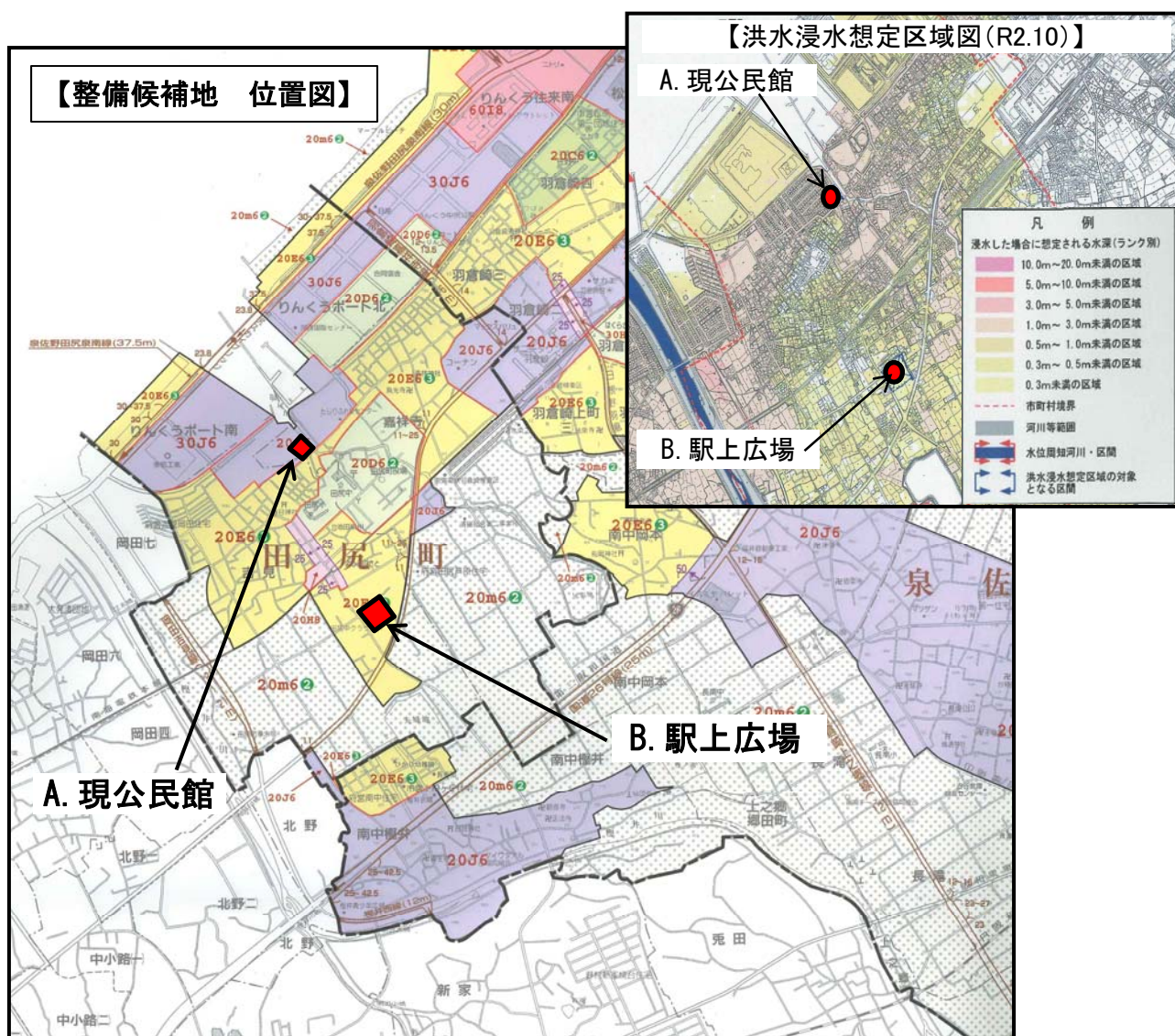
4-6. 新たな施設の整備候補地の選定

新たな総合文化センターを整備する候補地については、次の点を重視し、町所有で利用可能な敷地を2箇所選定し、比較検討することとします。

- ＜選定理由＞
- 既存ストックの有効活用と敷地規模のバランス
 - 周辺住環境や接続道路の状況
 - 町内公共施設との連携のしやすさ

整備候補地 概要

	敷地面積	用途地域	指定容積率	指定建ぺい率	想定浸水深さ
A 現公民館 ：嘉祥寺779番6他	約2,869㎡	準工業地域	200%	60%	1.0～3.0m未満
B 駅上広場 ：吉見425番1	約8,096㎡	第一種住居地域	200%	60%	0.3～0.5m未満



5. 総合文化センター整備の整備方法

前項で整理した整備条件に基づいて、それぞれの整備候補地で考えられる整備手法を選定し、以下の整備方法に分類して各種比較項目で評価した上で、総合文化センターの整備の方向性を決定することとします。

①案	現公民館の改修・増築による総合文化センターの整備
<p>現在の公民館を改修する案です。</p> <p>ただ、総合文化センターとして必要な施設を整備する場合、現在の公民館の規模では不十分なため、公民館横の駐車場スペースを活用し、1階を駐車場、2階以上は図書室等を整備するもので、現在のレイアウト等を大きく変えずに整備を進めようとするものです。</p>	
②案	現公民館を取壊し、同場所に新施設として総合文化センターを整備
<p>現在の公民館を取壊し、新しく総合文化センターとして施設を整備する案です。</p> <p>1階部分を駐車場とし、大ホール、図書室等は2階以上に計画し、総合文化センターとして必要な規模の整備は可能としています。</p>	
③案	駅上広場に総合文化センターを整備
<p>駅上広場に総合文化センターを整備する案です。</p> <p>1階の大部分を駐車場として整備し、2・3階に大ホール等を整備する案となります。</p> <p>敷地の余剰地については、広場（防災広場等）整備を予定しています。</p> <p>なお、現公民館の建物については、他の公共施設の整備・更新の検討を踏まえながら、建物の再利用又は解体を検討していきます。</p>	
④案	駅上広場に総合文化センターを整備、現公民館跡地で一部機能を引続きに整備(1)
<p>③案同様、駅上広場に総合文化センターを整備するとともに、現在の公民館を引き続き長期利用可能となるよう雨漏り修繕、外壁補修等を行うとともに館内の改装を行う案です。</p> <p>なお、③案における駅上広場に整備する機能の一部は、現公民館の建物側で引き続き行う予定です。</p>	
⑤案	駅上広場に総合文化センターを整備、現公民館跡地で一部機能を引続きに整備(2)
<p>④案と異なり、現公民館を取壊し、その跡地にも新たに施設を整備する案です。</p> <p>なお、③案における駅上広場に整備する機能の一部は、現公民館跡地の新建物側で引き続き行う予定です。</p>	

5. 総合文化センター整備の整備方法

【施設整備案の分類】

案	整備候補地	候補地内での整備内容	現公民館跡地の利用方法
①案	A. 現公民館	既存公民館を大規模改修し再利用する。合わせて、敷地内の余剰地に不足する施設機能を増築する。	
②案	A. 現公民館	既存公民館を撤去し、新たに施設を新築する。	
③案	B. 駅上広場	新たに施設を新築し、移転する。	他の公共施設の整備・更新の検討を踏まえながら、現公民館建物の再利用又は解体を検討する。
④案	B. 駅上広場	新たに施設を新築し、移転する。	既存公民館を改修し、図書室、史料館として再利用する。
⑤案	B. 駅上広場	新たに施設を新築し、移転する。	既存公民館を撤去し、図書室、史料館を新築する。

【比較項目】

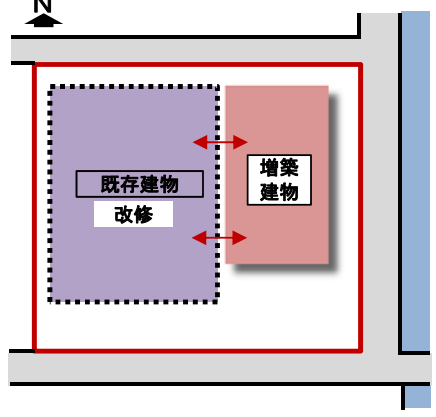
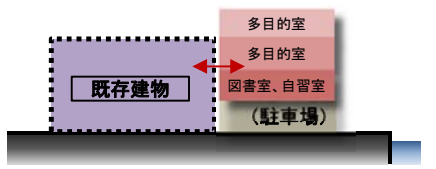
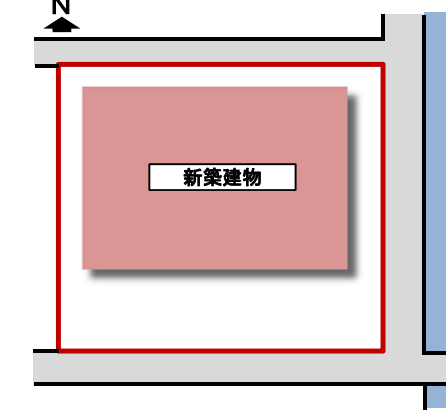

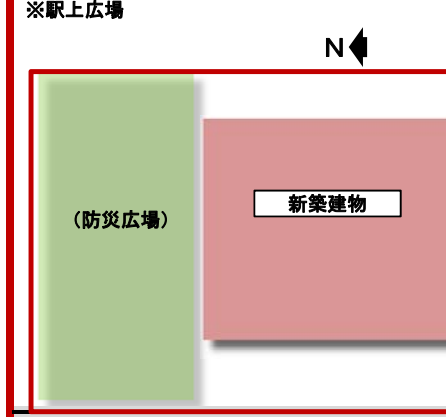

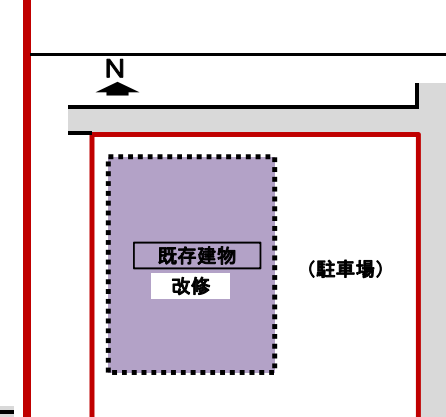
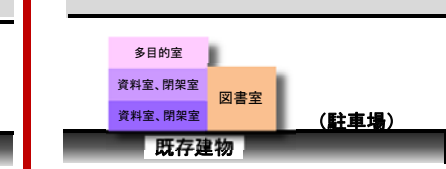
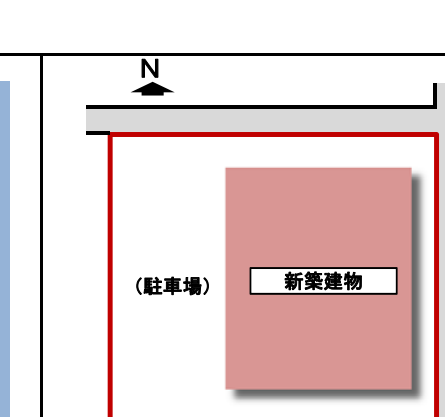

- 敷地規模（希望する環境を確保可能な内容か）
- 施設規模（想定する規模・内容を満足できるか）
- 整備内容（無理なく整備可能か）
- 図書の蔵書数
- 駐車台数
- 防災対応（災害時の受入可能人数、津波避難時収容人数）
- 工事中の運営方法（継続して運営可能か）
- 整備地周辺環境への影響（工事中の影響や日照、騒音等）
- 総事業費（工事概算）
- 事業期間

次項に比較検討表を示します。

6. 施設整備案の比較検討

施設整備案 比較表

凡例：◎…構想案を十分満足/負担がかなり小さい、○…構想案を満足/負担が小さい、△…構想案にやや未達/負担が大きい、×…構想案にかなり不足/負担がかなり大きい

	①案 現公民館を改修・増築利用	②案 現公民館場所で建替え	③案 駅上広場に建替え	④案 駅上広場に建替え+跡地利用 (現公民館改修 再利用)	⑤案 駅上広場に建替え+跡地利用 (現公民館を新建物に建替え)
敷地規模	2,869㎡ 評価 ×	2,869㎡ 評価 ×	8,096㎡ 評価 ◎	8,096+2,869㎡ 評価 ○	8,096+2,869㎡ 評価 ○
整備イメージ	(配置プラン)  (断面構成) 	(配置プラン)  (断面構成) 	(配置プラン)  (断面構成) 	(配置プラン)  (断面構成) 	(配置プラン)  (断面構成) 
施設規模	想定床面積 3,500㎡ 想定階数(増築部分) 4階建	想定床面積 4,000㎡ 想定階数 5階建	想定床面積 4,500㎡ 想定階数 3階建	想定床面積 4,000㎡(図書なし) 想定階数 3階建 ※跡地施設 2,000㎡ 3階建	想定床面積 4,000㎡(図書なし) 想定階数 3階建 ※跡地施設 3,500㎡ 3階建
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現況建物では新施設規模を満たさないため東駐車場側に増築する。 ・増築する場合、地上階を駐車場としその上に増築することが想定されるため、増築部分は4階程度になる。 ・既存部分は間仕切変更等の大幅な改変を実施せず増築部分で図書室、多目的室等を追加整備する想定。 ・大ホールは可動式座席導入による改修で200名程度の座席確保可能。尚、座席収納スペースは必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上階の大部分を駐車場とし、4階一部5階建てで整備する。 ・2階に希望が多い所要室を配して、なるべく利用しやすく整備する。 ・大ホールは定員250名程度で整備し、可変式座席等を検討し、類似施設との差別化を図る。 ・敷地条件で高層建物になりやすく、建物以外の余剰地も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上階の大部分を駐車場とし、3階建てで整備する。 ・階層は低層で計画し、駐車台数は増加して整備する。 ・大ホールは定員250~300名程度を想定し、可変式座席等を検討し、類似施設との差別化を図る。 ・新施設周囲の余剰地は防災機能を兼ね備えた防災公園を整備し、平時の住民利用の利便性だけでなく、緊急時は新施設と併用活用で高い防災機能を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存公民館を再利用し図書室、資料館に改修する。(改修内容は最小限とする) ※現ホールの2層吹抜部の2階部分に床を増設することは困難でコスト、工期(設計・工事共)がかなり必要。 ・現公民館建物を図書館等有効活用することで、隣接の歴史館と合わせた文化ゾーンとしての位置づけを高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地建物は図書館及び資料館の併設建物を想定し、新設建物とする。 ・新図書館、資料館を隣接の歴史館と合わせた文化ゾーンとしての位置づけを高めることができる。
図書機能の蔵書数	4.0万冊程度	5.0万冊程度	5.0万冊程度	3~3.5万冊程度	6.0~8.0万冊程度
駐車台数	20~24台程度 ※建物下柱によるスペースロスが多いため、青空駐車より台数が減少する。	30~35台程度	50台程度	50台程度	50台程度
防災対応	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物の浸水対策が課題。 			<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物の浸水対策が課題。(跡地施設との合計) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(跡地施設との合計)
受入可能人数	大ホール、講座室等 550人程度	大ホール、講座室等 770人程度	大ホール、講座室等 870人程度	大ホール、講座室等 1,160人程度	大ホール、講座室等 1,450人程度
津波避難収容人数	3階~屋上 1,400人程度	3階~屋上 1,400人程度	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 6,400人程度	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 7,000人程度	防災広場、駐車場含む収容可能場所合計 8,000人程度
工事中の運営方法	既存建物改修中の仮設建物が必要。(先行整備の増築建物は一部利用)	既存建物解体及び新施設建設時の仮設建物が必要。(現公民館以外)	仮設建物等は不要。	仮設建物等は不要。	仮設建物等は不要。
周辺への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は施設利用者と工事車両の通行が混在するため、周辺道路の通行に支障がでる可能性がある。 ・2方道路があるが標準的な幅員。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は仮公民館利用者と通行が交差することはない。 ・一部5階部分の日影が北側住宅地で大きくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中は公民館利用者と通行が交差することはない。
総事業費(概算)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物改修費 350百万 ・増築建物新築費 980百万 ・仮設建物整備費 100百万 概算総事業費 1,430百万 	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設建設費 2,600百万 ・既存建物解体費 40百万 ・仮設建物整備費 150百万 概算総事業費 2,790百万 	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設建設費 2,900百万 概算総事業費 2,900百万 	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設建設費 2,600百万 ・既存建物改修費 420百万 概算総事業費 3,020百万 	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設建設費 2,600百万 ・既存建物解体費 40百万 ・跡地新施設 2,400百万 概算総事業費 5,040百万
事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・増築工事 10ヶ月 ・仮設建物工事 3ヶ月 ・既存改修工事 8ヶ月 計) 21ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 15ヶ月 ・仮設建物工事 5ヶ月 ・既存解体工事 4ヶ月 計) 24ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 15ヶ月 計) 15ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 15ヶ月 ・既存改修工事 10ヶ月 計) 25ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 15ヶ月 ・跡地新築物工事 12ヶ月 ・既存解体工事 4ヶ月 計) 31ヶ月
総合	◎=0 ○=2 △=4 ×=3	◎=0 ○=2 △=6 ×=1	◎=4 ○=4 △=1 ×=0	◎=2 ○=5 △=1 ×=1	◎=3 ○=4 △=1 ×=1

7. 総合文化センター整備の方向性

前項の各整備案における比較検討表における評価考察は、以下のとおりです。

①案	現公民館の改修・増築による総合文化センターの整備
<p>現公民館内部の部屋のレイアウト等の大幅な変更を伴う改修を行う場合、建物の構造体への影響が大きくなり、設計及び工事の内容が複雑なものとなるため時間・費用ともに大きくなります。そのため、総合文化センター整備に必要な機能を満足に整備することが難しく、評価も低くなっています。</p> <p>また、全ての工事期間中ではありませんが、現公民館の改修工事を行う期間は、公民館の利用ができなくなります。</p> <p>総評として、公民館の改修・増築のみでは必要な機能・規模を確保することが難しく、既存公民館の雨漏り等補修や老朽した設備機器の更新で完全に健全な状態になるか不透明な部分があります。また、総事業費においても14億3千万円と改修に要する費用としては大きく、整備可能な内容に対する費用対効果は低いといえます。</p>	
②案	現公民館を取壊し、同場所に新施設として総合文化センターを整備
<p>現在の公民館の敷地面積は2,870㎡と新施設を整備するための十分な広さがなく、今後、基本計画、基本設計と総合文化センターの整備計画を進めていく過程において機能の追加等が必要となった場合、敷地に余剰部分がないことから、機能追加に対する対応が高層化あるいは地下化のみとなるため、周辺環境に与える影響と工事費用の面でデメリットしかありません。</p> <p>また、現時点で想定される建物階数が5階建てとなるため、既存公民館よりも建物が高くなり、周囲の住宅へ与える日影の影響が大きくなってしまいます。</p> <p>なお、現在の公民館を取壊し、新たな建物を建造することになるため、長期間に渡り、公民館の利用ができなくなります。</p> <p>総評として、これまでと同じ場所に整備することで施設整備後のイメージがしやすいことや隣接の田尻歴史館と連携した利用がしやすいといったメリットがあります。</p> <p>その一方、現在の公民館の敷地面積は十分な広さがなく、1階建物下を駐車場利用で整備していく方針からも、必然的に現在の公民館よりも高層化されるため、周辺の生活環境への影響も大きく、また、総合文化センター整備の詳細検討を進めていく上で、機能の追加等が発生した場合の対応策が極めて少ない、工事期間中は長期間にわたり公民館の利用はできなくなるなど、デメリットが大きいですといえます。</p>	
③案	駅上広場に総合文化センターを整備
<p>駅上広場の敷地面積は約8,000㎡ありますので、総合文化センターを整備するには十分な広さがあり、機能の追加等があった場合も十分対応することができます。</p> <p>当敷地は現在、町の一時避難場所に指定されていますが、建物の1階部分の多くは駐車場として整備すること、総合文化センター敷地以外のスペースを防災広場として整備するなど、避難所としてのこれまでの機能を確保できるように整備できるものとなっています。</p> <p>また、整備する施設については、指定避難所として被災者の方が避難できるよう防災機能を十分に備えた施設となるよう整備していくことになります。</p> <p>総事業費については、29億円と高額となり、工事期間は、新しく整備する施設の建設に15か月が必要となりますが、工事の期間中も、現在の公民館はこれまでどおりの利用・活動が可能となります。</p>	

7. 総合文化センター整備の方向性

総評として、施設の整備費用は大きいものの総合文化センターに必要な機能を十分に整備することが可能であり、かつ、一時避難場所の整備、指定避難所としての機能も果たすことができます。また、1つの施設に多目的ホール、図書機能、公民館・生涯学習施設といった機能を集約することにより、多くの来館者を期待することができます。

④・⑤案 駅上広場に総合文化センターを整備、現公民館跡地で一部機能を引続きに整備

総評として、歴史館との連携を図り、現在の公民館施設又は敷地を有効活用するものとなりますが、2つの施設を管理することとなるため、維持管理費を含め、整備後の負担がかなり大きくなってしまいます。

各整備方針を比較、評価した結果、「駅上広場に総合文化センターを整備する③案」がもっとも評価が高いことから、③案を整備方法の基本として、総合文化センターの整備検討を進めていくこととします。

【施設整備 推奨案】

案	整備候補地	候補地内での整備内容	現公民館跡地の利用方法
③案	B. 駅上広場	新たに施設を新築し、移転する。	他の公共施設の整備・更新の検討を踏まえながら、現公民館建物の再利用又は解体を検討する。

総合文化センターの整備に当たって、施設の設備、機能、規模などについては、引続き住民、利用者の意見を十分に聞きながら検討を行い、子どもから高齢者まで各世代が集い、生涯学習を通じて共に学び、文化に触れるとともに田尻の文化を発信する拠点施設の実現を図るものとします。

なお、総合文化センターは一つの建物に文化芸術事業のための設備を有する施設や生涯学習施設（公民館施設を含む）、図書機能を有する複合施設を予定していますが、施設の法的な位置づけ、種類については、前述のとおり、引き続き住民、利用者の意見を十分に聞きながら検討を行っていきます。

また、前項の比較検討表で提示した総事業費（概算）については類似施設における整備費用を参考に算出したものですが、今後の施設整備の検討に合わせて事業費の精査を進めていきます。なお、次の基本計画等における施設内容の詳細検討や物価傾向等によって、事業費の変動の可能性はあります。

合わせて、国庫補助の確保に努め、町の負担軽減を図っていくとともに起債の活用など、財源の確保と負担の平準化を図っていくものとします。

9. 資料

【住民アンケート 調査票1】

(仮称)田尻町総合文化センター基本構想 住民アンケート

この基本構想を策定していくに当たり、住民の皆さまの貴重なご意見をおうかがいすることを目的にアンケートを実施させていただきますので、ご協力をお願いします。

問1 あなたご自身についてお聞きします。

1-① 年齢層を教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 | |

1-② あなたのお住まいの地区について教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|--------|-------|------------|
| 1. 嘉祥寺 | 2. 吉見 | 3. りんくうポート |
|--------|-------|------------|

1-③ 田尻町にお住まいになってからの年数について教えてください（1つ選んで○）。

- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 6～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20年以上 |
|---------|---------|-----------|----------|

1-④ あなたのご職業について教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|----------------|----------------|-------|
| 1. 会社員（契約社員含む） | 2. 自営業（会社経営含む） | |
| 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト | |
| 5. 学生 | 6. 主婦（主夫） | 7. 無職 |

1-⑤ 1-④で1から5までに○印をつけた方にお聞きします。
通勤（通学）されている地域について教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|---------|------------------|---------|
| 1. 田尻町内 | 2. 泉州地域（堺市以南） | |
| 3. 大阪市内 | 4. 大阪府内（1～3を除く。） | 5. 大阪府外 |

9. 資料

【住民アンケート 調査票2】

問2 生涯学習の活動についてお聞きします。

なお、この調査における「生涯学習」とは、皆さんがいつの世代でも、どの場所でも、自由に行う、あらゆる学習活動のことを指し、学校教育や公民館などでの学習機会に限らず、自ら進んで行う学習や文化活動、スポーツ、趣味、ボランティア活動における様々な学びの活動をいいます。

2-① この1年の間で「生涯学習」をしているか教えてください(1つ選んで○)。

1. している ⇒ 次の2-②へ
2. していない ⇒ 2-③へ

2-② 2-①で「1. している」に○印をつけた方にお聞きします。

どのような生涯学習をしているのか教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 趣味的なもの(音楽、工芸、演劇、舞踊、鑑賞、観劇など)
2. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会、経済、時事、国際、環境など)
4. 健康、スポーツに関するもの
(健康法、医学、栄養、スポーツ、散歩、体操など)
5. 家庭生活に関するもの(料理、裁縫など)
6. 育児、教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)
7. 就職や職業に必要な技能等に関するもの(知識の習得、資格の取得など)
8. ボランティア活動のために必要な知識、技能
9. その他

具体的に記入してください：

2-③ 2-①で「2. していない」に○印をつけた方にお聞きします。

生涯学習をしていない理由を教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 時間がない
2. 適当な場所がない
3. 費用がかかる
4. 必要ない
5. その他

具体的に記入してください：

9. 資料

【住民アンケート 調査票3】

2-④ 今後、機会があれば取り組んでみたいと思うものを教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 趣味的なもの(音楽、工芸、演劇、舞踊、鑑賞、観劇など)
2. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)
3. 社会問題に関するもの(社会、経済、時事、国際、環境など)
4. 健康、スポーツに関するもの
(健康法、医学、栄養、スポーツ、散歩、体操など)
5. 家庭生活に関するもの(料理、裁縫など)
6. 育児、教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)
7. 就職や職業に必要な技能等に関するもの(知識の習得、資格の取得など)
8. ボランティア活動のために必要な知識、技能
9. その他

具体的に記入してください：

問3 田尻町立公民館(以下「公民館」といいます。)の利用動向についてお聞きします。

なお、現在の公民館の開館日、時間は、次のとおりとなっています。

開館日：水曜日、祝日、年末年始を除く日

開館時間：9時から21時まで(ただし、日曜日は9時から17時まで)

3-① 今までに公民館を利用したことはありますか(駐車場のみの利用を除く)。
(1つ選んで○)。

1. はい ⇒ 3-②へ
2. いいえ ⇒ 3-⑧へ

3-② 3-①で「1. はい」に○印をつけた方にお聞きします。

利用した内容について教えてください(あてはまるものすべてに○)。

1. 公民館まつり、ハートフルコンサート等のイベント
2. 公民館クラブ、自主サークル等の活動
3. 公民館主催講座
4. 学校行事
5. 地域活動
6. 会議・講習会等
7. 図書利用
8. 自習
9. 休憩
10. その他

具体的に記入してください：

9. 資料

【住民アンケート 調査票 5】

3-⑧ 3-①で「2. いいえ」に○印をつけた方にお聞きします。
公民館を利用したことがない理由を教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 特に利用する必要(目的)がないため
2. 施設・設備が古い(又は使い勝手が悪い)ため
3. 公民館で開催しているイベント・講座に魅力を感じないため
4. 他の施設を利用しており、公民館を利用する必要がないため
5. 図書の本数が少なく、借りたい本がないため
6. その他

具体的に記入してください：

問4 公民館の管理運営についてお聞きします。

4-① 公民館の管理運営に望むことを教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 休館日をなくして毎日開館してほしい。
2. 利用時間を今よりも遅くまで利用できるようにしてほしい。
3. 魅力的な講座、イベントをやってほしい。
4. その他

具体的に記入してください：

4-② 現在の公民館についてお気づきの点、ご意見があれば教えてください。
具体的に記入してください：

9. 資料

【住民アンケート 調査票6】

問5 公民館以外で生涯学習・公民館活動・文化芸術活動(鑑賞を含む。)で利用している施設についてお聞きします。

5-① 公民館以外の施設を利用している場合は、次の表の枠内に○印をつけてください(あてはまるものすべてに○)。

なお、いずれの施設も利用していない場合は、何も記入しないでください。

利用する施設 利用する内容	ふれ愛センター (総合保健福祉センター)	嘉祥寺・吉見 集会所	その他施設 (他市町村・民間施設)
市町村主催の事業			
自主サークル活動等			
地域活動			
会議・講習会等			
図書利用			
コンサート ・観劇等鑑賞			
その他利用			

5-② 5-①で利用する施設として「その他施設(他市町村・民間施設)」又は利用する内容として「その他利用」に○印をつけた方にお聞きします。

利用している施設及び利用する内容を教えてください

(複数ある場合は、回答いただける範囲で記入してください。)

施設名	利用する内容

9. 資料

【住民アンケート 調査票7】

問6 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むことをお聞きます。

6-① 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設（以下「総合文化センター」といいます。）に望む特色や役割について教えてください（あてはまるものすべてに○）。

1. 住民が自らの活動を通じ、創造し、発表する場
2. 住民が優れた文化芸術活動等を鑑賞する場
3. 住民が生涯学習・公民館活動・文化芸術活動に参加、体験する場
4. わからない
5. その他

具体的に記入してください：

6-② 総合文化センターに特に重要と思われる項目を教えてください（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. メインホールの設備 | 2. 舞台機能の充実 |
| 3. 利用しやすい座席の整備客席の数 | 4. ロビーのしつらえ |
| 5. 楽屋や設備室など舞台裏の充実 | 6. 演奏の練習等ができる部屋 |
| 7. カフェやレストランなど飲食スペース | 8. ショップや売店 |
| 9. 企画、提案、研究発表ができる設備を備えた研修室・会議室等 | |
| 10. 展示空間 | 11. 図書室（館）機能の充実 |
| 12. 内部空間のデザインやしつらえ | 13. 駐車場の整備 |
| 14. 駐輪場の整備 | 15. 外観 |
| 16. 施設まわりの空間（外構・緑地空間） | 17. 環境への配慮 |
| 18. 景観への配慮 | |
| 19. 田尻歴史館（愛らんどハウス）との連携（文化ゾーンとしての整備） | |
| 20. その他 | |

具体的に記入してください：

9. 資料

【住民アンケート 調査票8】

6-③ 総合文化センターに整備するメインホールとして望ましいと思う種類を教えてください（1つ選んで○）。

1. 音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール
2. 音響性能に優れた音楽向けのホール
3. 舞台機能が充実した演劇等向けのホール
4. その他

（具体的に記入してください：）

6-④ 現在の公民館大ホールの規模は、二百数十席程度の椅子を配置できる大きさですが、望ましいと思う規模（大きさ）を教えてください（1つ選んで○）。

1. 同じくらいの規模でよい。
2. 今よりも大きい規模が良い。
3. 今よりも小さい規模でよい。

6-⑤ メインホール以外の施設として必要と思われるものを教えてください（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 展示室・展示スペース | 2. 各種催しに利用できる多目的スペース |
| 3. 楽器等の練習室 | 4. ダンス等ができる軽運動室 |
| 5. 研修室 | 6. 料理室 |
| 7. 陶芸室 | 8. 和室 |
| 9. 会議室 | 10. 自習室 |
| 11. 図書室 | |
| 12. 自由に利用できるラウンジ等のスペース | |
| 13. その他 | |

（具体的に記入してください：）

9. 資料

【住民アンケート 調査票 9】

問7 総合文化センターの管理・運営についてお聞きします。

総合文化センターの管理・運営の方法として取り組んでもよいと思うものを教えてください（1つ選んで○）。

1. 施設管理のほか、イベントや生涯学習等の講座についても民間に委託
（指定管理者制度を活用）
2. 施設管理について民間に委託
3. 町による直営
4. どちらでもよい
5. わからない
6. その他

（具体的に記入してください：）

問8 総合文化センターの整備についてお聞きします。

現在の公民館を総合文化センターとして整備することを検討していますが、その整備する方法としてよいと思うものを教えてください（1つ選んで○）。

1. 公民館を大規模改修し、整備する
2. 公民館を取壊し、新たな施設として整備する
3. どちらでもよい
4. わからない
5. その他

（具体的に記入してください：）

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

9. 資料

【団体アンケート 調査票1】

(仮称)田尻町総合文化センター基本構想 各種団体向けアンケート

この基本構想を策定していくに当たり、皆さまの貴重なご意見をおうかがいすることを目的にアンケートを実施させていただきますので、ご協力をお願いします。

問1 団体についてお聞きします。

1-① 団体名を教えてください。

（具体的に記入してください：）

1-② 団体の構成人数について教えてください。

（ 人）

1-③ 団体を構成する皆さんの主な年齢階層を教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 | |

1-④ 団体を構成する皆さんの主なご職業について教えてください（1つ選んで○）。

- | | | |
|----------------|----------------|-------|
| 1. 会社員（契約社員含む） | 2. 自営業（会社経営含む） | |
| 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト | |
| 5. 学生 | 6. 主婦（主夫） | 7. 無職 |

9. 資料

【団体アンケート 調査票2】

問2 団体の活動についてお聞きます。

2-① 主な活動内容を教えてください（1つ選んで○）。

1. 趣味的なもの（音楽、美術、工芸、演劇、舞踊など）
2. 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）
3. 社会問題に関するもの（社会、経済、時事、国際、環境など）
4. 健康、スポーツに関するもの
（健康法、医学、栄養、スポーツ、散歩、体操など）
5. 家庭生活に関するもの（料理、裁縫など）
6. 育児、教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7. 就職や職業に必要な技能等に関するもの（知識の習得、資格の取得など）
8. ボランティア活動のために必要な知識、技能
9. その他 }] 具体的に記入
してください：

2-② 活動の主な目的について教えてください（1つ選んで○）。

1. 知識、技術の向上
2. 生きがいづくり
3. 趣味・教養
4. 仲間づくり
5. ボランティア
6. 社会参加、地域貢献
7. 健康づくり
8. 教育活動
9. その他 }] 具体的に記入
してください：

2-③ 活動の頻度を教えてください（1つ選んで○）。

1. 週2回以上
2. 週1回程度
3. 月2回程度
4. 月1回程度
5. その他 }] 具体的に記入
してください：

2-④ 主な活動時間帯を教えてください（1つ選んで○）。

1. 午前（9-13時）
2. 午後（13-17時）
3. 夜間（17-21時）

9. 資料

【団体アンケート 調査票3】

問3 田尻町立公民館(以下「公民館」といいます。)の利用動向についてお聞きします。

なお、現在の公民館の開館日、時間は、次のとおりとなっています。

開館日：水曜日、祝日、年末年始を除く日

開館時間：9時から21時まで(ただし、日曜日は9時から17時まで)

3-① 日ごろの活動において公民館を利用されていますか

(駐車場のみの利用を除く。)(1つ選んで○)。

1. はい ⇒ 3-②へ
2. いいえ ⇒ 3-⑥へ

3-② 主に利用する部屋(利用)を教えてください(あてはまるものすべてに○)。

- | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|--------|
| 1. 大ホール | 2. 和室 | 3. 陶芸室 | 4. 料理室 | 5. 講座室 |
| 6. 小会議室 | 7. 視聴覚室 | 8. 音響室 | 9. 図書利用 | |

3-③ 公民館を利用される頻度を教えてください(1つ選んで○)。

- | | | |
|----------|---------------------|----------|
| 1. 週1回程度 | 2. 月1・2回程度 | 3. 年数回程度 |
| 4. その他 | 〔具体的に記入
してください：〕 | |

3-④ 今の公民館を利用するに当たっての団体として不便・不満などはありますか(1つ選んで○)。

1. ある ⇒ 3-⑤へ
2. ない ⇒ 4-①へ

3-⑤ 3-④で「1. ある」に○印をつけた方にお聞きします。

施設・設備や管理運営に不満等を感じる内容を教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 施設・設備が古い | 2. 大ホールの使い勝手が悪い |
| 3. 防音・遮音する部屋がない | 4. 駐車場が狭い |
| 5. 図書室の蔵書が少ない | 6. 水曜日・祝日に利用できない |
| 7. 日曜日の開館時間が短い | |
| 8. その他 | 〔具体的に記入
してください：〕 |

9. 資料

【団体アンケート 調査票4】

3-⑥ 3-①で「2. いいえ」に○印をつけた方にお聞きします。
公民館を利用したことがない理由を教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 特に利用する必要(目的)がないため
2. 施設・設備が古い(又は使い勝手が悪い)ため
3. 他の施設を利用しており、公民館を利用する必要がないため
4. その他〔具体的に記入
してください〕

問4 公民館の管理運営についてお聞きします。

4-① 公民館の管理運営に望むことを教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

1. 休館日をなくして毎日開館してほしい。
2. 利用時間を今よりも遅くまで利用できるようにしてほしい。
3. その他〔具体的に記入
してください〕

4-② 現在の公民館についてお気づきの点、ご意見があれば教えてください。

〔具体的に記入してください〕

9. 資料

【団体アンケート 調査票5】

問5 公民館以外で利用している施設についてお聞きします。

5-① 利用している施設を教えてください（あてはまるものすべてに○）。

1. ふれ愛センター（総合保健福祉センター）
2. 嘉祥寺・吉見集会所
3. その他施設（他市町村・民間施設）

5-② 5-①で利用する施設として「その他施設（他市町村・民間施設）」に○印をつけた方にお聞きします。

利用している施設及び部屋を教えてください

（複数ある場合は、回答いただける範囲で記入してください。）。

施設名	部屋の種類

問6 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設に望むことをお聞きします。

6-① 生涯学習・公民館活動・文化芸術活動のための施設（以下「総合文化センター」といいます。）に望む特色や役割について教えてください（あてはまるものすべてに○）。

1. 住民が自らの活動を通じ、創造し、発表する場
2. 住民が優れた文化芸術活動等を鑑賞する場
3. 住民が生涯学習・公民館活動・文化芸術活動に参加、体験する場
4. わからない
5. その他 { 具体的に記入
してください： }

9. 資料

【団体アンケート 調査票6】

6-② 総合文化センターに特に重要と思われる項目を教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. メインホールの設備 | 2. 舞台機能の充実 |
| 3. 利用しやすい座席の整備客席の数 | 4. ロビーのしつらえ |
| 5. 楽屋や設備室など舞台裏の充実 | 6. 演奏の練習等ができる部屋 |
| 7. カフェやレストランなど飲食スペース | 8. ショップや売店 |
| 9. 企画、提案、研究発表ができる設備を備えた研修室・会議室等 | |
| 10. 展示空間 | 11. 図書室(館)機能の充実 |
| 12. 内部空間のデザインやしつらえ | 13. 駐車場の整備 |
| 14. 駐輪場の整備 | 15. 外観 |
| 16. 施設まわりの空間(外構・緑地空間) | |
| 17. 環境への配慮 | 18. 景観への配慮 |
| 19. 田尻歴史館(愛らんどハウス)との連携(文化ゾーンとしての整備) | |
| 20. その他 | |
- (具体的に記入
してください)

6-③ 総合文化センターに整備するメインホールとして望ましいと思う種類を
教えてください(1つ選んで○)。

- | |
|--------------------------|
| 1. 音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール |
| 2. 音響性能に優れた音楽向けのホール |
| 3. 舞台機能が充実した演劇等向けのホール |
| 4. その他 |
- (具体的に記入
してください)

6-④ 現在の公民館大ホールの規模は、二百数十席程度の椅子を配置できる大き
さですが、望ましいと思う規模(大きさ)を教えてください
(1つ選んで○)。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 同じくらいの規模でよい。 | 2. 今よりも大きい規模が良い。 |
| 3. 今よりも小さい規模でよい。 | |

9. 資料

【団体アンケート 調査票7】

6-⑤ メインホール以外の施設として必要と思われるものを教えてください
(あてはまるものすべてに○)。

- | | | | | |
|----------------------------|----------------------|--------|-------|--------|
| 1. 展示室・展示スペース | 2. 各種催しに利用できる多目的スペース | | | |
| 3. 楽器等の練習室 | 4. ダンス等ができる軽運動室 | | | |
| 5. 研修室 | 6. 料理室 | 7. 陶芸室 | 8. 和室 | 9. 会議室 |
| 10. 自習室 | 11. 図書室 | | | |
| 12. 自由に利用できるラウンジ等のスペース | | | | |
| 13. その他〔具体的に記入
してください：〕 | | | | |

問7 総合文化センターの管理・運営についてお聞きします。

総合文化センターの管理・運営の方法として取り組んでもよいと思うものを
教えてください(1つ選んで○)。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 施設管理のほか、イベントや生涯学習等の講座についても民間に委託
(指定管理者制度を活用) | |
| 2. 施設管理について民間に委託 | 3. 町による直営 |
| 4. どちらでもよい | 5. わからない |
| 6. その他〔具体的に記入
してください：〕 | |

問8 総合文化センターの整備についてお聞きします。

現在の公民館を総合文化センターとして整備することを検討していますが、そ
の整備する方法としてよいと思うものを教えてください(1つ選んで○)。

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 公民館を大規模改修し、整備する | |
| 2. 公民館を取壊し、新たな施設として整備する | |
| 3. どちらでもよい | 4. わからない |
| 5. その他〔具体的に記入
してください：〕 | |

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。